

社団法人レーザー学会学術講演会  
第 32 回年次大会報告書

平成 24 年 1 月 30 日～2 月 1 日  
TKP 仙台カンファレンスセンター

平成 24 年 3 月  
第 32 回年次大会実行委員会

# 社団法人レーザー学会学術講演会第 32 回年次大会報告書

## 目次

I.	はじめに	1
II.	第 32 回年次大会概要	
1	実行組織・全体スケジュール・収支計算書	2
2	講演会について	6
2.1	公開特別講演会	
2.2	シンポジウム「ファイバーレーザー開発とその加工への応用の進展」	
2.3	シンポジウム「Optofluidics: マイクロフォトニクスと流体の融合」	
2.4	シンポジウム「マイクロ光集積システムと最新微細加工技術」	
2.5	シンポジウム「コヒーレントテラヘルツ光源の新展開」	
2.6	シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」	
2.7	優秀論文発表賞	
3	懇親会について	11
4	併設展示会について	11
III.	各委員会からの報告	
1	プログラム委員会	12
2	現地実行委員会	
2.1	総務係	18
2.2	会計係	24
2.3	受付係	30
2.4	会場係	41
2.5	懇親会係	62
2.6	アルバイト係	66
2.7	広報係	69
3	展示会 (Laser Solution 2012) 実行委員会	70
4	学会事務局	71
IV.	次年度申し送り事項まとめ	75

(付録 1) 第 32 回年次大会実行委員会及びプログラム委員会名簿

(付録 2) 写真集

## I. はじめに

(社) レーザー学会学術講演会  
第 32 回年次大会実行委員会  
委員長 松浦 祐司  
(東北大学大学院医工学研究科 教授)

2012 年 1 月 30 日 (月) - 2 月 1 日 (水) に「TKP 仙台カンファレンスセンター」においてレーザー学会学術講演会第 32 回年次大会が開催された。東北・北海道地方としては 2004 年に仙台国際センターで開催して以来の 2 回目の大会開催である。今回は地方開催のため移動時間を考慮して初日午後からの 2 日半の会期とし、また、遠方からの来訪者を考慮して会場としては仙台駅から徒歩 3 分と立地に優れた会議場を選択した。

震災直後には仙台での開催を危ぶむ声もあったが、多くの方々のご支援をいただき、講演総数 316 件 (公開特別講演 2 件, シンポジウム 29 件, 招待講演 59 件, 一般講演 226 件) となり、当初予定していた応募締切延長の実施も必要なく、地方開催の大会としては例年を超える多くの講演件数となった。会議場は例年と比較してコンパクトであったが、会期が 2 日半であったこともあり、予想以上の講演数に対しても 8 つの会議室をほぼフル活用することで対応できこれが活気ある雰囲気づくりにもつながることとなった。また、参加登録者数も 506 名と我々の予想を遥かに超える多数の方々のご参加をいただき、一般講演、公開特別講演、懇親会とどの会場も多くの人であふれる盛会となった。

被災地仙台での年次大会開催は、準備段階において若干の不安はあったが、都市中心部は早期に復興し開催にはまったく問題は生じず、年次大会関係者の多大な協力により、スムーズな会議運営が行われた。今回の大会においては、現地実行委員は総勢 8 名の少数精鋭としたため、委員の皆様には過大な負荷をおかけすることとはなかったが、皆責任をもって担当任務を果たしていただき、大きなトラブルもなく無事に大会を実施することができた。

公開特別講演および懇親会は、一般講演会場にほど近い「パレスへいあん」において、1 月 31 日 (火) 15:30 より開催された。公開特別講演会の参加者数は 179 名と我々の予想を遥かに上回り、会場には立見も出るほどであった。参加された聴講者の皆様はお二方のご講演に熱心に耳を傾けていた。また、懇親会にも我々の予想を超える 139 名もの参加者があり、会場は熱気に包まれていた。

今回の年次大会開催に当たっては、前例にとらわれずに特色ある地方大会とすることを目指し、例年と比較してコンパクトな会場と少数のスタッフで運営に当たった。結果的に大会を無事に終えることができ、次年度以降の大会運営においても、本資料に記載の事項が参考になれば幸いである。

## II. 第 32 回年次大会概要

### 1 実行組織・全体スケジュール・収支計算書

#### 第 32 回年次大会組織委員会

委員長	レーザー学会会長	中井 貞雄	大阪大学
副委員長	同 副会長	加藤 義章	光産業創成大学院大学
副委員長	同 副会長	八木 重典	三菱電機 (株)
委員			
山本 和久	大阪大学	秋山 靖裕	(株) 東芝
阪部 周二	京都大学	大道 博行	(独) 日本原子力研究開発機構
神成 文彦	慶應義塾大学	藤田 雅之	(財) レーザー技術総合研究所
黒澤 宏	(独) 科学技術振興機構	須田 亮	東京理科大学
宮永 憲明	大阪大学	野田 進	京都大学
大田 龍夫	関西電力 (株)	細谷 英行	オプトエナジー (株)
岡田 龍雄	九州大学	粟津 邦男	大阪大学
川田 善正	静岡大学	望月 孝晏	兵庫県立大学
鈴木 良和	オムロンレーザーフロント (株)	辻 伸二	(株) 日立
山内 薫	東京大学		

#### 第 32 回年次大会実行委員会

実行委員会委員長 (兼 募金委員長)	松浦 祐司	東北大学大学院医工学研究科
同 副委員長	星宮 務	東北学院大学工学部
同 顧問	植田 憲一	電気通信大学レーザー新世代研究センター
プログラム委員長	上杉 直	東北工業大学工学部
同 副委員長	南出 泰亜	理化学研究所基幹研究所
展示会 Laser Solution 2010 実行委員長	山本 和久	大阪大学光科学センター
同 事務局長	上野 直樹	(株) オプトロニクス社
同 委員	大沢 哲夫	(株) オプトロニクス社

#### 現地実行委員会

総務係 主査	片桐 崇史 (東北大学)	アルバイト係 主査	岩井 克全 (仙台高等専門学校)
会計係 主査	加藤 祐次 (北海道大学)	懇親会係 主査	松浦 祐司 (東北大学)
受付係 主査	佐藤 学 (山形大学)	広報係 主査	三浦 賀一 (株) ミウラセンサー研究所
会場係 主査	南出 泰亜 (理化学研究所)		

## プログラム委員会

A. レーザー 物理・化学	主査 桂川 眞幸 (電気通信大学) 副査 森田 隆二 (北海道大学) 委員 是枝 聡肇 (東北大学) 委員 岸本 哲夫 (電気通信大学) 委員 村山 能宏 (東京農工大学) 委員 石原 照也 (東北大学) 委員 四方 潤一 (日本大学)	委員 稲場 肇 (産業技術総合研究所) 委員 大坊 真洋 (岩手大学工学部)
B. レーザー 装置	主査 平等 拓範 (分子科学研究所) 副査 平野 嘉仁 (三菱電機) 委員 興 雄司 (九州大学) 委員 桐山 博光 (日本原子力研究開発機構) 委員 齊川 次郎 (島津製作所) 委員 芦原 聡 (東京農工大学)	F. 光機能材料・ デバイス 主査 庄司 一郎 (中央大学) 副査 黄 晋二 (奈良先端科学技術大学院大学) 委員 杉田 篤史 (静岡大学) 委員 宮本 克彦 (千葉大学) 委員 久武 信太郎 (大阪大学) 委員 山田 博仁 (東北大学)
C. 高強度・ 高エネルギー レーザー応用	主査 中野 秀俊 (東洋大学) 副査 中村 一隆 (東京工業大学) 委員 小栗 克弥 (NTT) 委員 藤井 隆 (電力中央研究所) 委員 錦野 将元 (日本原子力研究開発機構) 委員 尾崎 典雅 (大阪大学)	G. 光通信 主査 久保田 寛和 (NTT) 副査 廣岡 俊彦 (東北大学) 委員 浜本 貴一 (九州大学) 委員 吉田 実 (近畿大学) 委員 高野 勝美 (山形大学)
D. レーザー プロセッシング	主査 杉岡 幸次 (理化学研究所) 副査 渡辺 明 (東北大学) 委員 大越 昌幸 (防衛大学校) 委員 佐藤 正健 (産業技術総合研究所) 委員 坪井 泰之 (北海道大学) 委員 松尾 繁樹 (徳島大学)	H. 光情報処理 主査 谷田 純 (大阪大学) 副査 宮崎 大介 (大阪市立大学) 委員 吉川 宣一 (埼玉大学) 委員 鈴木 裕之 (東京工業大学) 委員 式井 慎一 (パナソニック株式会社)
E. レーザー計測	主査 佐藤 俊一 (東北大学) 副査 椎名 達雄 (千葉大学) 委員 鄭 和翊 (東海大学)	I. レーザー 医学・生物学 主査 石原 美弥 (防衛医科大学校) 副査 近江 雅人 (大阪大学) 委員 神成 文彦 (慶應義塾大学) 委員 中林 孝和 (北海道大学) 委員 秋葉 正博 ((株)トプコン) 委員 佐藤 学 (山形大学)
	幹事 佐藤 篤 (東北工業大学) 林 伸一郎 (理化学研究所)	

## 第32回年次大会全体スケジュール

月	日	実行委員会関連	プログラム委員会関連	掲載号	会誌/HP掲載 その他(次回大会準備等)
5月	実行委 5/30	・第1回実行委: 5/30			
6月		・実行委員委嘱 ・実施体制・スケジュール・概要決定 ・各係担当業務の確認・作業計画の検討 → 順次作業を開始	・シンポジウムテーマ案立案 (7月に遅延)		
7月	プロ委 7/26	・会場配置概要検討(両委員長) ・公開特別講演企画検討(→内諾依頼)	・招待講演講師・演題募集 ・プログラム委員委嘱 ・第1回プログラム委: 7/26(火) *シンポジウム・招待講演選定 ・シンポ含む招待内諾依頼 *内諾取得・登録期限: 8/M	7号	第32回年次大会開催案内(I) ・一般講演募集 ・優秀論文発表賞募集 ・組織委, 実行委, 現地実行委 ・交通アクセス等
8月		・公開特別講演の確定: 8/M ・ポスター案制作: 8/M ・別会合の会場確保等フォロー開始	・一般講演募集開始: 8/30 *応募受付はWebのみ!	8号	第32回年次大会開催案内(II) ・シンポジウムテーマ(案)他 ・7号データ再掲(+プロ委)
9月		・公開特別講演依頼状送付: 9/5 ・ポスター制作完: 9/7 →印刷手配 ・銀行口座開設(会計係): 9/M ・ポスター印刷・配付(日程調整) ・企業への大会賛助依頼 (9/13~11/14)	・シンポ/招待講演正式依頼: 9/5 *回答期限: 9/20 ・第2回開催案内: 9/6 ・一般講演応募締切: 9/30 *締切延長の要否判断	9号	第32回年次大会開催案内(III) ・公開特別講演 ・一般講演募集案内 ◆学会HPへのアクセスを要請! (会員各位にメール配信!) ・一般講演応募促進(メール配信等)
10月	プロ委 10/17 実行委 10/31	・公開特別講演回答期限: 10/B ・会誌掲載用会場案内作成(会場係) *会場案を検討(プロ委との連携). *受付, 併設展示, 本部, 会場等 →HP, 会誌, 次第書, 予稿集に掲載 ・第2回実行委: 10/31(月) *作業計画・進捗・収支等フォロー *予稿集広告募集依頼(10/10-11/21)	・第2回プログラム委: 10/17(月) <全プログラム構築> *初案作成(9/M) *詳細小間割付完成(当日) ・招待予稿締切: 10/17 ・一般予稿締切: 10/30 ・座長・採点者の内諾完: 11/4	10号	第32回年次大会開催案内(IV) ・公開特別講演(最終) ・シンポジウム, 招待講演全件 ・講演時の注意事項 ◆学会HPへのアクセスを要請
11月		・公開特別講演原稿締切: 11/28 ・名誉会員への招待状送付: 11/30 ・会場最終見積書入手(正式予約?) ・大会賛助フォロー: 11/18	・座長・採点者正式依頼: 11/28 ・セッション・座長表(案)作成: 11/18 ・講演プログラム作成 ・予稿原稿の集約・整備: 11/28 ・次第書, 予稿集の編集・作成	11号	第32回年次大会開催案内(V) ・10号データ+α ◆学会HPに下記掲載 ・会場案内図, セッション・座長表 ・全招待講演の掲載
12月			・印刷発注期限: 12/16 ・印刷日程フォロー, 他	12号	第32回年次大会開催案内(最終) ・会場案内図・セッション・座長表 ・全講演プログラム
1月	1/29 ~2/1	・大会前日の準備: 1/29(日)16時~ ・大会報告書担当決定・依頼(メール) (実行委員長指示→事務局) ・第32回年次大会: 1月30日(月) ~ 2月1日(水)	・準備品の収集及びチェック		
2月		・速報原稿(会誌4号): 2/20 ・報告書原稿作成(第3回実行委で配布)	・速報原稿(会誌4号): 2/20 ・優秀論文発表賞の審査・推薦		
3月	実行委	・第3回実行委: 3/M(By E-Mail) ・年次大会実施報告まとめ, 会計報告 ・優秀論文発表賞授賞候補案の承認 ・大会報告書原稿集約: 3/E	・大会報告書原稿集約: 3/E		
4-5月		・年次大会実施報告書発行		4号	第32回年次大会実施報告掲載

## 第 32 回年次大会収支計算書

(単位：円)

科目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 賛助金・助成金	2,500,000	1,800,000	700,000	100千円/口×18口 *1
2. 参加費収入	1,810,000	1,918,000	△ 108,000	
正会員収入	1,150,000	1,530,000	△ 380,000	5千円×306人
学生会員収入	100,000	122,000	△ 22,000	1千円×122人
非会員収入	560,000	266,000	294,000	7千円×38人
3. 予稿集販売収入	750,000	585,000	165,000	
当日一般	750,000	585,000	165,000	3千円×195冊
4. 広告収入	500,000	693,000	△ 193,000	
会誌広告収入	500,000	693,000	△ 193,000	約10頁
5. 懇親会	450,000	548,000	△ 98,000	
参加費	450,000	548,000	△ 98,000	5千円×105人, 1千円×23人
<b>収入合計 (A)</b>	<b>6,010,000</b>	<b>5,544,000</b>	<b>466,000</b>	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 会場費	2,100,000	1,794,430	305,570	*2
会場借料	1,800,000	1,662,550	137,450	展示会場費240千円控除
会場設営費	300,000	131,880	168,120	レンタル料含
2. 会議費				
会場費+交通費	1,600,000	1,729,190	△ 129,190	
3. 予稿集印刷費	1,100,000	1,154,270	△ 54,270	送料込
4. 印刷費	320,000	273,665	46,335	
講演案内, 参加章他	80,000	49,665	30,335	
次第書	100,000	100,000	0	
ポスター	100,000	84,000	16,000	
公開特別講演予稿集	40,000	40,000	0	
5. アルバイト	630,000	432,250	197,750	総時間432.25h
6. 講演者交通費, 謝礼	160,000	101,000	59,000	
公開特別講演講師謝礼	60,000	60,000	0	謝礼
交通費	100,000	41,000	59,000	交通費
7. 懇親会費	1,000,000	1,034,655	△ 34,655	90人×約7千円+会場費他
8. 通信費	100,000	56,330	43,670	
9. 雑費	350,000	293,311	56,689	弁当代他
10. その他	150,000	13,744	136,256	源泉徴収, 振込手数料等
<b>当期支出合計 (B)</b>	<b>7,510,000</b>	<b>6,882,845</b>	<b>627,155</b>	
<b>収支差異 (C)</b>	<b>△ 1,500,000</b>	<b>△ 1,338,845</b>	<b>△ 161,155</b>	

\*1 展示会賛助金100千円

\*2 展示会場使用料および理事会, 各種委員会の会場使用料を控除後の金額

## 2 講演会について

全講演件数は316件（公開特別講演2件，シンポジウム29件，招待講演59件，一般講演226件）となり，近年の年次大会の中では，多くの講演が発表された。

本年次大会の講演数の内訳を下表に示す。B部門（レーザー装置），D部門（レーザープロセッシング），I部門（レーザー医学・生物学）の一般講演が増えており，特にI部門は昨年度に比べて2倍以上の投稿件数であった。（ ）内に前回（第31回年次大会）の件数を参考までに示す。

第32回年次大会講演数（括弧は前回）

講演部門	特別講演他	招待講演	一般講演	優秀論文発表賞 応募者数 [応募率%]
公開特別講演	2 (2)			
シンポジウム	29 (26)			
部門別講演				
A. レーザー物理・化学		6 (6)	16 (34)	1 [7]
B. レーザー装置		7 (5)	50 (43)	12 [24]
C. 高強度・高エネルギーレーザー応用		6 (6)	30 (32)	5 [17]
D. レーザープロセッシング		6 (6)	44 (34)	18 [41]
E. レーザー計測		7 (6)	16 (31)	3 [19]
F. 光機能材料・デバイス		8 (6)	13 (15)	4 [31]
G. 光通信		7 (6)	7 (11)	1 [15]
H. 光情報処理		6 (5)	13 (10)	3 [24]
I. レーザー医学・生物学		6 (6)	37 (16)	14 [38]
合計	31 (28)	59 (52)	226 (226)	61 [27]
講演総数 : 316 (306)				

### 2.1 公開特別講演会

1月31日（火）の15:30-17:30に，一般講演の会場にほど近い「パレスへいあん」において，下記2件の講演が行われた。

「Fly By Light Power : レーザーパワーによる航空宇宙推進」

名古屋大学教授 佐宗章弘氏

「産学連携による高機能半導体レーザーの研究開発」

東北大学教授 横山弘之氏



佐宗氏はレーザー光照射により発生するアブレーションを動力源としてロケットの打ち上げを行うレーザー推進や、レーザー光照射による運動量変化を応用した宇宙塵の減速除去など、我々レーザー研究者の発想を超えた壮大なスケールの研究プロジェクトについてわかりやすく解説いただいた。

横山氏は民間企業との共同研究の成果である大出力青紫色超短パルス半導体レーザーの開発について紹介いただくとともに、バイオフォトンクス分野への半導体レーザー応用の可能性について解説いただいた。会場では「半導体レーザーでここまでできるのか」という驚きとともに、今後の進展に期待する声が聞かれた。

公開特別講演会の参加者数は179名と我々の予想を遥かに上回り、会場には立見も出るほどであった。参加された聴講者の皆様はお二方のご講演に熱心に耳を傾けていた。

## 2.2 シンポジウム「ファイバーレーザー開発とその加工への応用の進展」

本シンポジウムは、大会3日目（2月1日）の午後に開催された。講演者は6名であり、企業の方々からファイバーレーザー開発とその加工への応用の現状及び今後の展望等についてご講演を頂いた。諸般の事情で大会最終日の午後の開催となったが、約60名の出席者が得られるとともに非常に活発な質疑応答が行われ当該分野への関心の高さがうかがえる盛況ぶりであった。

第1番目に、「高出力ファイバーレーザー加工システムとその板金切断への応用」と題して、(株)アマダの石黒宏明氏に、4kWファイバーレーザー及びそれを搭載した切断加工機などについて紹介頂いた。ファイバーレーザーは薄板高速切断に優れ、炭酸ガスレーザーでは苦手とされていた高反射材への適用も可能であり、かつ省エネ性がよいことなどが実証された興味深い報告であった。

次に、「シングルモードファイバーレーザーの技術と加工応用」と題して、古河電気工業(株)の藤崎晃氏に、主に500Wシングルモードファイバーレーザー及びそれを用いた銅、アルミ及びアルミナ等の高反射材料に対する試験加工特性などについて紹介頂いた。さらに、講演中に、コア径50 $\mu\text{m}$ の光ファイバに結合した2kWマルチモードファイバーレーザーの開発についても簡単な紹介があるなど研究の高度な進展がうかがえる報告であった。

次に、「kW級高出力ファイバーレーザーの重工業分野における応用」と題して、(株)IHIの山岡弘人氏に、レーザー・アークハイブリッド溶接の橋梁パネルへの適用など、大型構造部材へのファイバーレーザー溶接の応用の現状と今後の課題などにつき紹介頂いた。レーザー発振器の高効率化によりフォトンコストは低下の方向であるが、センサー等周辺機器も含めたトータルとしてのコストダウンも重要な課題であるとの貴重な言及があった。

次に、「ファイバーレーザーを用いた厚板炭素鋼の狭開先溶接におけるビームオシレーションと欠陥抑制効果」と題して、(株)日立製作所の塚本武志氏に、最大出力10kWのファイバーレーザーを用いた溶接開先内でのビームオシレーション（レーザー光の揺動）による溶接欠陥の低減効果及びビームオシレーションを適用して作製した厚さ150mmの炭素鋼継手の特性評価結果について紹介頂いた。ファイバーレーザーのハイパワーを如何に生かすかという応用面での技術開発が重要であることを認識させられる報告であった。

次に、「ファイバーレーザーのフレキシブルパルス制御とそのマーキング加工等への応用」と題して、オムロン(株)の中野文彦氏に、MOFA (Master Oscillator and Fiber Amplifier) 型パルスファイバーレーザー並びに多彩な加工を可能にするファイバーレーザーマーキング装置及びトリミング装置の開発について紹介頂いた。独自開発のフレキシブルパルスコントロール制御技術 (FPC技術) により、発色制御性や視認性の向上などが実現されているとの興味深い報告であった。

最後に、「UVパルスファイバーレーザーの開発とその加工への応用」と題して、(株)メガオプト及び理化学研究所の宮田健太郎氏に、これまでに半導体マスク欠陥検査用として開発されてきた深紫外線領域の199nmファイバーレーザーについて詳しく紹介頂くとともに、加工用としての波長266nmレーザー開発の現状などについても紹介頂いた。ファイバーレーザーの特徴を生かした応用の新機軸を感じさせる内容であった。

### 2.3 シンポジウム「Optofluidics：ナノ・マイクロフォトニクスとマイクロ流体の融合」

液層および気層流体において光計測法はすでに広く用いられており、また、細胞識別に用いられるフローサイトメトリーや光ピンセットのように、流体中の粒子・細胞と光との相互作用は、分子生物学、バイオ医学においてもすでに深く浸透している技術である。一方、マイクロ・ナノ加工のオプティクス分野への波及効果はめざましく、フォトニック結晶構造やマイクロリング共振器による非常に高い共振器Q値の達成や、プラズモニックナノ回路の研究が精力的に行われている。近年、海外においてはマイクロ・ナノフォトニクスとマイクロ流体の融合がOptofluidicsという新しい分野を構築しており、レーザーの国際会議での単独セッションも目立ちはじめ、2011年にはミュンヘンにおいて1st EOS Conference on Optofluidicsも開催された。そこで、国内では異なる専門分野として捉えられてしまっている“マイクロ流体と光計測の研究”、“バイオ計測用のマイクロ流体反応回路の研究”、“マイクロ・ナノ光回路の研究”を集約し、Optofluidics分野として連携していくための足がかりを作るべく本シンポジウムを開催した。本シンポジウムでは、光流体計測およびバイオ用マイクロ流体反応回路における高機能な光計測のニーズから紐解き、関連した要素技術をレビューしながらマイクロ・ナノフォトニクスとマイクロ流体の融合による新しい方向性を模索すべく6名の講師にご講演いただいた。単に外部からのフォトン源としてのレーザーではなく、異相界面の物性を光制御することで流体特性を制御できる可能性や、共振器ダイナミクスの中でのセンサー分子、MEMS機能の取り込みといった新規な研究テーマ、あるいは集積デバイス化の必要性の一方で使い捨てに堪えるような加工技術といった課題が顕在化してきたシンポジウムとなった。今後、レーザー学会が、このめざましい発展を見せている境界分野研究の研究者が集うコミュニティのコアとなるべく、研究会、学会誌等でのサポートをお願いしたい。

### 2.4 シンポジウム「マイクロ光集積システムと最新微細加工技術」

本シンポジウムでは、「マイクロ光集積システムと最新微細加工技術」をテーマに、同分野で最先端の研究をされている5名の先生にご講演をして頂いた。

1件目は、東京工業大学の小山二三夫先生から「面発光レーザー構造による巨大ビーム偏向と可変光デバイス」のご講演をして頂いた。面発光レーザーの上部DBRを片持ち梁としたMEMS面発光レーザーを示し、波長温度係数制御ならびに波長掃引特性が示された。また、スローライト増幅器を用いた巨大・高解像ビームスキャナを示し、波長を可変にすることでビームの放射角度を大きく掃引できることが示された。

2件目は、東北大学の山田博仁先生から「シリコン/シリカ複合光導波路集積回路技術」のご講演をして頂いた。シリコンとシリカ光導波路の長所・短所は相補的な関係が成り立ち、シリコンとシリカ光導波路を混載することで得られる利点と、実現に必要な要素技術について示された。接合構造、交差構造、光入出力構造の特性が示された。

3件目は、東北大学の田中徹先生から「光TSVを用いた光電子集積マイクロシステムの開発」のご講演をして頂いた。LSI開発のトレンドである三次元LSIに対し、さらに光配線を組み込んだ光電子集積

三次元LSIが示され、要素技術となる貫通光配線について具体的な設計・製法が示された。光ケーブルの結合効率や光貫通配線の導波特性が示された。

4件目は、豊田工業大学の熊谷慎也先生から「レジストのスプレー成膜と斜め露光を用いた立体加工」のご講演をして頂いた。立体構造へのパターンニングが可能なスプレー成膜の気流解析を行い、遮蔽板を設けることで特性が良くなることなどを示した。また、斜め露光で問題となる反射光を抑制するために光量調整液の使用が有効であることが示された。さらに、デバイス応用として三次元直列太陽電池の試作が示された。

5件目は、レーザー技術総合研究所の藤田雅之先生から「MEMSへのレーザー加工応用」のご講演をして頂いた。MEMSウェハを構成する組成の全く異なる多種材料を一気に・綺麗に・安価にダイシングするための技術を、開発当初から現在に至るまでの試行錯誤過程とともに示された。また、レーザーを用いて特殊基板上に形成された材料を別のウェハ上に転写する技術が紹介された。

聴講者は15名程度とやや少なめであったが、活発な質疑応答がなされた。ご講演頂いた先生方とお集まり頂いた聴講者の皆様方に感謝致したい。

## 2.5 シンポジウム「コヒーレントテラヘルツ光源の新展開」

本シンポジウムは、大会初日1月30日(月)13:05-16:15に開催された。電波と光波の境界にあるテラヘルツ波領域は、フォトンクス技術や超高速エレクトロニクスの技術によって大きく発展してきた。特に、フェムト秒レーザー、QスイッチNd:YAGレーザー、光ファイバレーザー、マイクロチップレーザー、半導体レーザーなど各種レーザーによってテラヘルツ波領域の開拓が進んだといっても過言ではない。本シンポジウムでは、これらレーザーを用い、今まさにテラヘルツ波研究のフロンティアに立って活発な研究を行っている6名の研究者に、最先端研究とその展望について講演頂き、議論を行った。

最初に、京都大学の廣理英基氏により「超高強度THzパルスの発生と非線形THz分光への応用」の題目で講演があった。高出力テラヘルツ波による非線形分光は、今最もホットな研究である。高出力テラヘルツ波は、フェムト秒レーザー光のパルス面を傾斜させた光を非線形光学結晶LiNbO<sub>3</sub>に入射させ、チェレンコフ放射で発生する位相速度と、パルス面傾斜による群速度が同じくなり、位相整合条件を満たすという特殊な手法で発生させている。電界強度で1MV/cm以上の電場を発生できるため、半導体中の電子・スピンによる非線形現象を純光学的に観測でき、幾つかの実測例が示された。今後、益々この分野が発展すると期待される。

次に、福井工業大学の栗島史欣氏により「レーザーカオスを用いたテラヘルツ波の広帯域化と安定化」の講演があった。テラヘルツ波センシング応用では、より安定した光源が必要であり、かつ実用的には安価なシステムが望ましい。同氏は、安価な多モード半導体レーザーを用いて、外部鏡による光学遅延帰還を用いてカオス発振させ、時間平均としてスペクトル安定性の良いテラヘルツ波発生を実現している。また、スペクトル帯域の拡大も実現しており、通常の半導体レーザーを用いた場合との比較などを交えて、カオスレーザーの有効性が示された。

3番目には、理研の林伸一郎氏より「マイクロ固体フォトンクスによるテラヘルツ波光源の最先端」の題目で講演があった。マイクロ固体フォトンクスは、本来分子研の平等氏が提唱している研究分野である。都合のため、本シンポジウムでは共同研究者の林氏からマイクロチップレーザーの現状が説明された。マイクロチップレーザーは、自動車のエンジン点火プラグとして従来の電気からレーザーに置き換える技術として現在注目が集まっている。手のひらにのる小さなレーザーから強力な光を発生できるところが、この装置の特長である。このレーザーを林氏らは、非線形光学波長変換を用いてテラヘルツ

波の発生に利用し、尖頭値100Wを超える高出力波長可変テラヘルツ波光源を実現した。高出力化によって新しいテラヘルツ波応用が見えはじめている。

4番目の講演は、徳島大学の安井武史氏より「デュアル光コムを基準とした超精密テラヘルツ・シンセサイザーの開発」であった。光コムは、光の周波数の物差しとしての役割を果たし、これをテラヘルツ波発生に利用することで格段に周波数精度を向上させている。特に、デュアル光コムによってマイクロ波周波数標準にトレーサブルとすることによって、超精密なテラヘルツ・シンセサイザーが開発された。優れた絶対値周波数精度と安定性は、超精密テラヘルツ分光など様々な応用分野で標準的な使用となることが期待される。

5番目の講演は、理研の野竹孝志氏より「有機非線形光学結晶BNAテラヘルツ波差周波光源の開発」であった。有機非線形結晶は、無機材料に比べ格段に大きな非線形性と、テラヘルツ波帯と光波帯で、ほぼ等しい屈折率を有する。この性質を利用して、実際にサブTHzから20THzにおよぶ超広帯域テラヘルツ波領域において波長可変テラヘルツ波光源を実現させている。独自に溶液法による結晶成長も行っており、広いテラヘルツ波領域にある未発見の現象の発見に役立つ光源として期待される。

最後の講演は、理研の平山秀樹氏より「テラヘルツ量子カスケードレーザーの進展と今後の展望」であった。テラヘルツ量子カスケードレーザー (THz-QCL) は、半導体素子からの直接テラヘルツ波が発生する素子として、将来のテラヘルツ波応用には欠かせないデバイスである。開発に取り組んでいるGaAs/AlGaAs系のTHz-QCLで、3.7THzのレーザー発振の成功について報告された。また、THz-QCLは高温動作が大きな開発目標であるが、この開発されたTHz-QCLでは143Kと世界トップ級の高温動作が実現されている。また、THz-QCLとして未開拓の5-12THzのデバイスとして、AlGaN系THz-QCLの提案がなされた。

以上のように、光波レーザー技術を用いた幅広いテラヘルツ波光源開発やその応用に関する講演がなされた。これらは、今後テラヘルツ波応用を開拓する上で重要な技術である。本シンポジウムの開催は、初日の最初で、またプログラム構成の都合上、テラヘルツ物理のセッションと重なった部分もあったが、多くの参加者があり議論も盛況であった。

## 2.6 シンポジウム「レーザー学会受賞記念講演」

レーザー学会では、昭和52年から、優れた研究に対して表彰する制度を設けて表彰している。年を重ねるたびに賞の内容も変化しており、現在では、レーザー研究に発表された優れた論文を対象とする業績賞（論文賞）、年次大会と研究会において優れた発表を対象とする業績賞（進歩賞）、論文と研究発表に対して45歳以下の若手を対象にした奨励賞がある。業績賞（論文賞）は、さらにオリジナル部門と解説部門に分かれている。今年で第35回を数え、合計6件が選ばれており、2011年5月25日の総会において表彰式が行われた。表彰式からは、ちょっと時間が経っているが、例年、年次大会において、受賞を記念して、受賞者に受賞対象論文及びその後の発展について講演をしていただいている。

発表の1番目は、業績賞（論文賞）のオリジナル部門を受賞された日本原子力開発機構関西光科学研究所の余語覚文氏から「精密に時間制御された高強度レーザーによるイオン加速」と題する講演であった。2番目は、同じく業績賞（論文賞）の解説部門を受賞された東京大学工学研究科の香取秀俊氏による「光格子時計の発明-そのインパクトと展望-」と題する講演であった。3番目は、業績賞（進歩賞）を受賞された大阪大学レーザーエネルギー学研究中心の宮永憲明氏による「高エネルギー出力ペタワットレーザーLFEXの開発と今後の展望」と題する講演であった。4番目は、同じく業績賞（進歩賞）を受賞された三菱電機（株）の平野嘉仁氏による「レーザーTV用プレーナ導波路型グリーンレーザー」

と題する講演であった。5番目は、奨励賞を受賞された京都大学の足立俊輔氏による「パラメトリックチャープパルス増幅における2サイクル・マルチミリジュール・搬送波位相制御光源の開発」と題する講演であった。6番目は、同じく奨励賞を受賞された理化学研究所エクストリームフォトンクス研究グループの高橋栄治氏による「高次高調波を用いたコヒーレントな“水の窓”X線の発生」と題する講演であった。

特定のテーマに関するシンポジウムと異なり、広範囲の内容が含まれたものであるにも関わらず、ハイレベルの内容が発表されることから、多数の参加者があり、盛況の内に開催された。

## 2.7 優秀論文発表賞

「レーザー科学の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文を発表した35歳以下の若手研究者」を表彰する優秀論文発表賞に計61件の応募があった。優秀論文発表賞規程に基づき受賞者を選考する。実行委員会にて候補者を選定し次回の理事会において受賞者が決定される。

## 3. 懇親会について

1月31日（火）の公開特別講演会終了後の18時より、「パレスへいあん」において懇親会が開催され、139名もの参加者があり盛会であった。懇親会には特別講演の講師である佐宗先生、横山先生に加えて、名誉会員の霜田光一先生と岡久雄先生にもご参加いただいた。現地実行委員会総務担当である東北大学の片桐崇史氏の進行のもと、松浦祐司実行委員長および中井貞雄会長からの主催者を代表して挨拶の後、東北学院大学の星宮務副実行委員長から乾杯の発声があり開会となった。今回は特別企画として「東北の銘酒呑み比べコーナー」が設けられ、入手が困難な地酒に人気が集まっていた。

会の終盤では兵庫県立大学の藤原 関夫評議委員から、次回姫路で開催が予定されている年次大会についてアナウンスの後、東北工業大学の上杉直プログラム委員長より締めめの挨拶があり閉会となった。

## 4. 併設展示会について

併設展示会「Laser Solution2012」は1月30日～2月1日の3日間、TKP仙台カンファレンスセンター ホール3Aにて開催し、以下の18社（団体）16小間の出展があった。

(株) アートレイ	(株) インデコ
(株) オフィールジャパン	(株) エイチアールディー
(株) オプトサイエンス	(株) オプトロニクス社
加スライソフトウェアインク日本支社	コヒレント・ジャパン (株)
(株) ジー・イー・エス	(株) 島津製作所
セブンシックス (株)	(株) ティー・イー・エム
(株) トリマティス	日本アールソフトデザイングループ
(株) 日本デバイス (株)	浜松ホトニクス (株)
(株) VIC インターナショナル	(社) みやぎ工業会

例年どおりコーヒー無料サービスを実施し、実行委員の先生方をはじめ年次大会参加者が多数、出展社ブースに足を向けて頂き出展社から好評を得ることができた。

### III. 各委員会からの報告

#### 1 プログラム委員会

第 32 回年次大会プログラム委員会

委員長 上杉 直

副委員長 南出泰丞

幹事 佐藤 篤

幹事 林 伸一郎

##### 1.1 講演会概要

###### (1) 講演件数等

今回の部門別講演件数を表 1 に、主な機関別の講演件数を表 2 に示す。今大会は、8 会場で 3 日間の開催で、一般講演投稿数が少ない場合には、使用しない会場も出てくるかと心配したが、受賞記念講演シンポジウムを含めシンポジウム講演が 5 セッションで、一般投稿件数も 226 件と多く、講演総数は 316 件になった。この講演件数は、過去 5 年間の年次大会では最も多い講演総数である。特に、昨年度に比べ、B 部門（レーザー装置）、

表 1 部門別講演件数

講演部門	公開特別講演 シンポジウム	招待講演	一般講演	優秀論文発表賞 応募者数 [応募率%]
公開特別講演	2(2)			
シンポジウム	29(26)			
部門別講演				
A. レーザー物理・化学		6(6)	16(34)	1[7]
B. レーザー装置		7(5)	50(43)	12[24]
C. 高強度・高エネルギーレーザー応用		6(6)	30(32)	5[17]
D. レーザープロセッシング		6(6)	44(34)	18[41]
E. レーザー計測		7(6)	16(31)	3[19]
F. 光機能材料・デバイス		8(6)	13(15)	4[31]
G. 光通信		7(6)	7(11)	1[15]
H. 光情報処理		6(5)	13(10)	3[24]
I. レーザー医学・生物学		6(6)	37(16)	14[38]
合計	31(28)	59(52)	226(226)	61[27]
講演総数 : 316 (306)				

表2 機関別の発表件数（登壇者所属機関；順不同）

大学・高専 (229)	件数	香川大学	1	日立製作所	1
大阪大学	31	首都大学東京	1	ギガフォトン	1
東北大学	23	兵庫県立大学	1	ニデック	1
電気通信大学	13	防衛大学	1	メガオプト	1
京都大学	12	仙台高等専門学校	1	フジクラ	1
慶応義塾大学	12	東北学院大学	1	アマダ	1
近畿大学	12	東北工業大学	1	凸版印刷	1
東京工業大学	10	埼玉医科大学	1	ジェネシア	1
宇都宮大学	10	東洋大学	1	IHI	1
東京大学	9	立教大学	1	IDEC	1
千葉大学	7	愛知工業大学	1	日本電波	1
徳島大学	6	豊田工業大学	1	町田製作所	1
関西学院大学	6	福井工業大学	1	オムロン	1
北海道大学	5	関西大学	1	コマツ	1
静岡大学	5	大阪電気通信大学	1	豊田中研	1
光産業創生大学院大学	5			トヨタテクニカル	1
九州大学	4	公的研究機関 (53)			
日本大学	4	理化学研究所	18		
名古屋大学	3	日本原子力研究開発機構	9		
山形大学	3	レーザー技術総合研究所	8		
山梨大学	3	産業技術総合研究所	6		
宮崎大学	3	分子科学研究所	4		
大阪市立大学	3	情報通信研究機構	2		
東海大学	3	電力中央研究所	1		
東京理科大学	3	物質・材料研究機構	1		
筑波大学	2	核融合研究所	1		
東京農工科大学	2	基礎生物学研究所	1		
防衛医科大学	2	レーザー技術推進センター	1		
京都工芸繊維大学	2	技術研究組合 ALPROT	1		
早稲田大学	2				
東京電機大学	2	企業 (34)			
創価大学	2	三菱電機	6		
茨城大学	1	NTT	3		
信州大学	1	浜松フォトニクス	3		
埼玉大学	1	四国総合研究所	3		
広島大学	1	古河電気工業	2		
愛媛大学	1	日立電線	1		

D部門（レーザープロセッシング）、I部門（レーザー医学・生物学）の一般講演件数が多くなった。このため、B部門では、会期中の毎日夕方まで講演が発表されることになった。しかしながら、どのセッションも50人近い参加者数であり、日本におけるレーザー装置関係の研究の活発さを如実に示していた。また、I部門も毎日、セ

セッションが開催されたが、どのセッションも30~50人の参加者があり盛況であった。優秀論文発表の応募件数では、B部門、D部門、I部門が昨年よりも増えており、これらの部門では若手研究者が活発に研究を推進していることを伺わせる結果となっている、尚、例年のことではあるが、プログラム委員の先生の努力にも拘らず光通信部門、光情報処理部門の一般講演件数は少なく、今後の課題である。表2に示す機関別発表件数では、大学・高専からの発表件数が本年も多く、景気低迷を反映してか企業からの発表件数が少ない結果となった。レーザー技術が種々の産業分野で活用されていることを踏まえると、企業からの発表が今後増えることを期待したい。

## (2) 講演会場・使用機器

講演会場には、TKP仙台カンファレンスセンターの2階から4階にある4つのホール(102~126席)及び4つのカンファレンスルーム(72~90席)を用いた。全9部門の招待・一般講演及びシンポジウム講演を、各部門主査からの開催日時の要望や例年のセッション参加者数などを考慮した上で、会場利用率の高いセッション構成とすることで8会場に割り当てた。全会場が3フロアーに集中して配置されていたため会場間の移動の利便性は高かったが、通路や会場入口周辺のスペースがやや狭かった。また、特別講演には、会議場に隣接するパレスへいあんの200席のホールを使用した。セッション構成を表3に示す。

プロジェクター及びスクリーンは、会場には備え付けられていなかったため、会議場からレンタルした機材を設置し使用した。これらの機材については、各会場とも大きなトラブルは無かった。

## (3) プログラム編成等

今回の年次大会は東日本大震災により、第1回実行委員会が5月末に開催された。プログラム委員会幹事団の所属する機関にも甚大な影響があったこともあり、プログラム委員会としての本格的検討を開始したのは6月になってからであった。そのため、年次大会開催に向けた種々のスケジュールを踏まえて、プログラム委員会の立ち上げを迅速に行うこととした。また、東日本大震災の影響もあり、東北地区からの投稿が少なくなることを想定し、地方開催ではあるがプログラム委員会主査には、レーザー学会等で活発に活躍している若手の先生方を積極的に指名した。主査から、副査、並びにプログラム委員を推薦していただき、一部、プログラム幹事団で追加修正してプログラム委員会を構成した。今回は、昨年度に比べプログラム委員の数が多少多くなったが、投稿件数、参加者を増やす上では効果があったと考えている。第1回プログラム委員会で、プログラム幹事団、並びに各部門からシンポジウム提案があり、委員会で調整の後に、現在、研究が活発に行われているテーマの中から参加者が多いと期待される5件のシンポジウムを決定した。また、各部門より招待講演者を提案していただき、テーマ、講演者に関する調整を行うとともに、招待講演の内諾者の確認も同時に行い、講演者への連絡体制を確保した。第2回プログラム委員会では、シンポジウム講演、招待講演、一般講演を合わせたプログラム編成、セッション構成、コマ割り付け、座長、優秀論文発表賞審査員の選定作業を行った。コマ割り付けでは、招待講演者の要請、あるいは、他講演会との調整を踏まえて当初案からの変更を行った。尚、当初予想を超える一般公演数であった為、B部門においては、一会場を会期中、全て利用する状態であった。この部門の方には、他会場での講演の聴講等において会場を移動することになったが、会場が2階~4階のみであり移動に殆ど時間が不要であったので大きな混乱はなかった。尚、招待講演の1件に関して、当日、都合が悪くなった為、翌日の空いているコマに講演をしていただいた。

## (4) 座長

特別講演を除く、シンポジウム、一般講演のセッションの座長は各部門からの推薦に基づき、第2回プログラム委員会にて選出した。基本的な考え方は、可能な限り各部門、シンポジウム主査の方、または、委員の方が担当することとし、基本的には問題なく座長を決定することができた。大会当日のプログラム進行に関しては、概ね順調に推移した。



## 1.2 優秀論文発表賞選考

本表彰はレーザー科学の発展に貢献しうる優秀な一般講演を発表した若手会員に対して授与し、今後の研究奨励を目的としている。選定に当たっては、座長と採点者の2名で発表内容と発表の評価を採点し、2名の採点結果から、プログラム委員長が候補者を実行委員長に推薦する。実行委員長は理事会に推薦し、理事会にて決定することになる。今回の年次大会では、応募者は61人（A部門：1名、B部門：12名、C部門：5名、D部門：18名、E部門：3名、F部門：4名、G部門：1名、H部門：3名、I部門：14名）であった。全採点者の平均点：44.3点（満点：60点）であった。9部門から原則として各1名を選考することが要請されているが、部門ごとの応募者数のバラツキがある点、部門ごとに平均点が多少異なる点、また、採点者毎の点数に多少バラツキがあるので、各部門から1名の原則に拘らずに選考を行った。結果的に、2名の採点者が共に高い評価を与えた9名の候補者を実行委員長に優秀論文発表者として推薦した。尚、選考採点表は、会場アルバイタにより、会期中に全ての採点結果を回収することができた。また、採点者が2名であるので、点数が大きく分かれる場合もあるが、コメント欄に記述があれば、理由が判断でき選考に際しては非常に有効であった。今回、多くの採点者がコメントを付けて頂いたので選考に際しては、大変有効であった。採点者には、大変でもコメントを記述する様に要請することが望ましい。

## 1.3 次年度申し送り事項

### 1) 日程：

今回、ほぼ同時期にレーザー関係の Advanced Solid-State Photonics、Photonics West 等の会議が開催されたため、参加、或いは、招待講演が出来ない等の事例が散見された。可能ならば、事前に同時期に開催される会議の情報があれば、混乱が避けられる可能性がある。また、この時期では止む負えないことではあるが、プログラム委員、招待講演依頼者の方で、大学の入試業務と重なり参加できなかった。座長、招待講演者等の確認を早めに行うことが必要かと思う。

### 2) 締切日：

プログラム委員会で締切延長の可能性が質問された。昨年度も締切の延長は実施していないことを踏まえ今回も延長しないとの方針で対応した。次年度以降も、プログラム委員に締切延長はしないとの方針を周知することが必要かと考えている。

### 3) 地方開催：

学会員が多くない地方で開催する場合、プログラム委員には、各種学会等で活躍している若手の先生方を積極的に選任することが重要である。今回も東北・北海道地区以外の多くの先生方にご活躍頂いた。

### 4) 招待講演：

招待講演は、年次大会の核となる講演であり、講演者、講演題名の選定は一般講演投稿の促進に極めて重要である。レーザー技術が進展し、多くの分野で用いられている現状においてレーザー学会員以外で活発に研究を行っている方を招待するときに、参加費が免除できないか。勿論、第1回プログラム委員会で学会員でない場合、参加費は会員料金に減額されることは確認しているが、学会員でない方でレーザー技術を積極的に活用し優れた研究成果を挙げている方を今後とも招待する場合も増えてくることが予想される。招待講演者が結果的にレーザー学会員になることを期待して参加費の免除を期待したい。

表3 セッション構成と会場割付原案

会場名	特別会場 パレス へいあん	ホール2A 会場Ⅰ	ホール2B 会場Ⅱ	カンファレンス ルーム3A 会場Ⅲ	カンファレンス ルーム3B 会場Ⅳ	ホール4A 会場Ⅴ	ホール4B 会場Ⅵ	カンファレンス ルーム4A 会場Ⅶ	カンファレンス ルーム4B 会場Ⅷ
席数	200名	102名	117名	72名	90名	117名	126名	72名	90名
1 月 30 日	11:00-11:15								
	11:15-11:30								
	11:30-11:45								
	11:45-12:00								
	12:00-12:15								
	12:15-12:30								
	12:30-12:45								
	12:45-13:00								
	13:00-13:15								
	13:15-13:30								
	13:30-13:45	B1 ファイバー レーザー-1	D1 プロセス基礎	C1 テラヘルツ 物理	I1 OCT	S4 コヒーレント テラヘルツ 光源の 新展開	S3 マイクロ 光集積 システムと 最新微細 加工技術	E1 一般計測1	S5 レーザー 学会賞 受賞記念 講演
	13:45-14:00								
	14:00-14:15								
	14:15-14:30								
	14:30-14:45								
	14:45-15:00								
	15:00-15:15								
	15:15-15:30								
	15:30-15:45	B2 マイクロ レーザー	D2 先端加工	C2 レーザー 粒子加速	I2 イメージング 1			E2 一般計測2	
	15:45-16:00								
16:00-16:15									
16:15-16:30									
16:30-16:45									
16:45-17:00									
17:00-17:15	B3 固体 レーザー			I3 イメージング 2		F1 ナノ・分子 結晶			
17:15-17:30									
17:30-17:45									
17:45-18:00									
9:00-9:15									
9:15-9:30									
9:30-9:45	B4 高出力 レーザー-1	D3 若手1	C3 レーザー プラズマ X線	F2 半導体 レーザー	A1 原子分子 分光	S2 Optofluidics: マイクロ フォトニクス と流体の融合	E3 リモート センシング		
9:45-10:00									
10:00-10:15									
10:15-10:30									
10:30-10:45									
10:45-11:00									
11:00-11:15	B5 高出力 レーザー-2	D4 若手2		F3 光機能 構造・材料	A2 量子光学		E4 分光・精密 計測		
11:15-11:30									
11:30-11:45									
11:45-12:00									
12:00-12:15									
12:15-12:30									
12:30-12:45									
12:45-13:00									
13:00-13:15									
13:15-13:30									
13:30-13:45	B6 ファイバー レーザー-2	D5 フェムト秒 レーザー プロセス	C4 コヒーレント X線1	F4 光機能素子	A3 光物性	I4 技術開発1	E5 分子計測	G1 光通信1	
13:45-14:00									
14:00-14:15									
14:15-14:30									
14:30-14:45									
14:45-15:00									
15:00-15:15									
15:15-15:30									
15:30-15:45									
15:45-16:00									
16:00-16:15									
16:15-16:30	特別講演								
16:30-16:45									
16:45-17:00									
17:00-17:15									
17:15-17:30									
17:30-18:00									
18:00-20:00	懇親会								

表3 セッション構成と会場割付原案(つづき)

会場名	特別会場 パレス へいあん	ホール2A 会場Ⅰ	ホール2B 会場Ⅱ	カンファレンス ルーム3A 会場Ⅲ	カンファレンス ルーム3B 会場Ⅳ	ホール4A 会場Ⅴ	ホール4B 会場Ⅵ	カンファレンス ルーム4A 会場Ⅶ	カンファレンス ルーム4B 会場Ⅷ	
席数	200名	102名	117名	72名	90名	117名	126名	72名	90名	
2 月 1 日	9:00-9:15									
	9:15-9:30		B7 各種 レーザー	D6 若手3	C6 高エネルギー 物理1	G2 光通信2	A4 光操作・ 高精度 レーザー	I5 技術開発2	H1 デジタル オプティクス	
	9:30-9:45									
	9:45-10:00									
	10:00-10:15									
	10:15-10:30									
	10:30-10:45									
	10:45-11:00									
	11:00-11:15		B8 新規 レーザー 材料	D7 微粒子創製	C7 高エネルギー 物理2	G3 光通信3		I6 治療	H2 ディスプレイ	
	11:15-11:30									
	11:30-11:45									
	11:45-12:00									
	12:00-12:15									
	12:15-12:30									
	12:30-12:45									
	12:45-13:00									
	13:00-13:15									
	13:15-13:30									
	13:30-13:45		B9 レーザー 制御	D8 薄膜創製1					I7 パルス レーザー 利用	H3 ナノフォト ニクス
	13:45-14:00									
	14:00-14:15									
14:15-14:30										
14:30-14:45										
14:45-15:00										
15:00-15:15			D9 薄膜創製2			S1 ファイバー レーザー 開発とその 加工応用 への進展				
15:15-15:30										
15:30-15:45										
15:45-16:00		B10 短波長 レーザー						I8 分析	H4 プラズモ ニクス ・光記録	
16:00-16:15										
16:15-16:30										
16:30-16:45										
16:45-17:00										

## 2 現地実行委員会

### 2.1 総務係

片桐 崇史 (主査)

内容：

- (1) 実行委員会の開催
- (2) 年次大会準備内容および大会本部設営
- (3) 申し送り事項

#### (1) 実行委員会の開催

下記のように計3回の実行委員会を開催した。地方開催であることを考慮し、例年行われている大会開催後の実行委員会は省略した。

#### 第1回実行委員会

日時：平成23年5月30日(月) 17:00-18:30

場所：東北大学工学部電子・情報系2号館511号室

議事：

1. 委員紹介・名簿確認
2. 実行委員編成
3. 開催期日、会場について
4. 全体計画とマスタースケジュール
5. 助成、賛助について
6. ポスター作成について
7. プログラム委員会について
8. 特別講演会について
9. その他

#### 第2回実行委員会

日時：平成23年10月31日(月) 17:00-19:00

場所：東北工業大学一番町ロビー 4階ホール

議事：

1. 第1回実行委員会議事録案確認
2. プログラム委員会報告
3. 各係準備作業と当日実行計画  
総務、会計、受付、会場、懇親会、アルバイト、広報、併設展示会、事務局
4. 第3回実行委員会について
5. その他

第3回実行委員会

日時：平成24年1月29日（日）18:00-19:00

場所：TKP 仙台カンファレンスセンター 3階共有スペース（大会受付）

議事：

1. 第2回実行委員会議事録案確認
2. プログラム委員会報告
3. 各係最終準備状況確認  
総務，会計，受付，会場，懇親会，アルバイト，広報，併設展示会，事務局
4. その他

(2) 年次大会準備内容および大会本部設営

- ・ 仙台観光コンベンション協会 (<http://www.stcb.or.jp/>) への助成申請および実施報告

10/24 登録申請  
10/27 仙台観光コンベンション協会と打ち合わせ  
11/14 コンベンション開催助成金交付申請書提出  
1/23 助成金交付内定  
3/16 実施報告書提出  
3/19 助成金交付額決定  
3/下旬 助成金受領

- ・ コンベンションバッグ，観光案内パンフレットの手配（各500部）

パンフレット入りのコンベンションバッグを大会当日受付で出席者全員に配布した。

手配先：仙台観光コンベンション協会

パンフレット： 仙台観光マップ（仙台市内観光情報地図），  
文化観光施設割引券（仙台市内観光施設割引券），  
るーぶる仙台（仙台市内観光循環バス情報），  
仙台牛タン焼きマップ（牛たん屋グルメマップ）

- ・ 委員，アルバイトおよび別会合用弁当の手配

会場	弁当単価(円)	入れ物	個数(人前)			搬入時間	箱(ゴミ) 回収時間
			1月30日	1月31日	2月1日		
TKP仙台カンファレンスセンター	※700	使い捨て	36	36	31	11:30	13:00
シルバーセンター 5F 会議室	1,500	回収		19		11:45	13:00
シルバーセンター 5F 第三研修室	1,000	回収		11		11:45	13:00
仙台情報・産業プラザセミナー室(1)A	1,000	回収			6	12:00	13:00

・看板の手配，搬入（総務資料 1）

看板デザインはハリウコミュニケーションズ株式会社 (<http://www.zundanet.co.jp>) に依頼し，ファイル納入した．東北大学内の印刷室にて印刷し，大学所有の看板に貼り付けて使用した．

大会会場（TKP 仙台カンファレンスセンター）入口：1 枚

特別講演会／懇親会会場（パレスへいあん）入口：1 枚

特別講演会／懇親会受付前：1 枚

特別講演会／懇親会会場ドア前：1 枚

懇親会会場：プロジェクタでスクリーンへ投影

・特別講演会・懇親会会場準備

特別講演会用垂れ幕（パワーポイントで自作，印刷して使用した．）

懇親会特別企画用地酒の手配

懇親会特別企画用地酒の紹介パンフレットおよびパネルの作成

PC の準備

受付の設営

・大会本部設営

場所：TKP 仙台カンファレンスセンター3 階ミーティングルーム 3A

設備：

ノート PC

インクジェットカラープリンター

モノクロレーザープリンター

大会本部用電話機

電気ポット 2 台

無線 LAN

（コピー機は会場内のサービスを紹介した）

・大会期間中の主な業務

実行委員・アルバイト用名札の作成（総務資料 2）

本部用お茶，お菓子等のサービス

弁当の受取確認・配布

無線 LAN の ID・パスワード案内表示作成

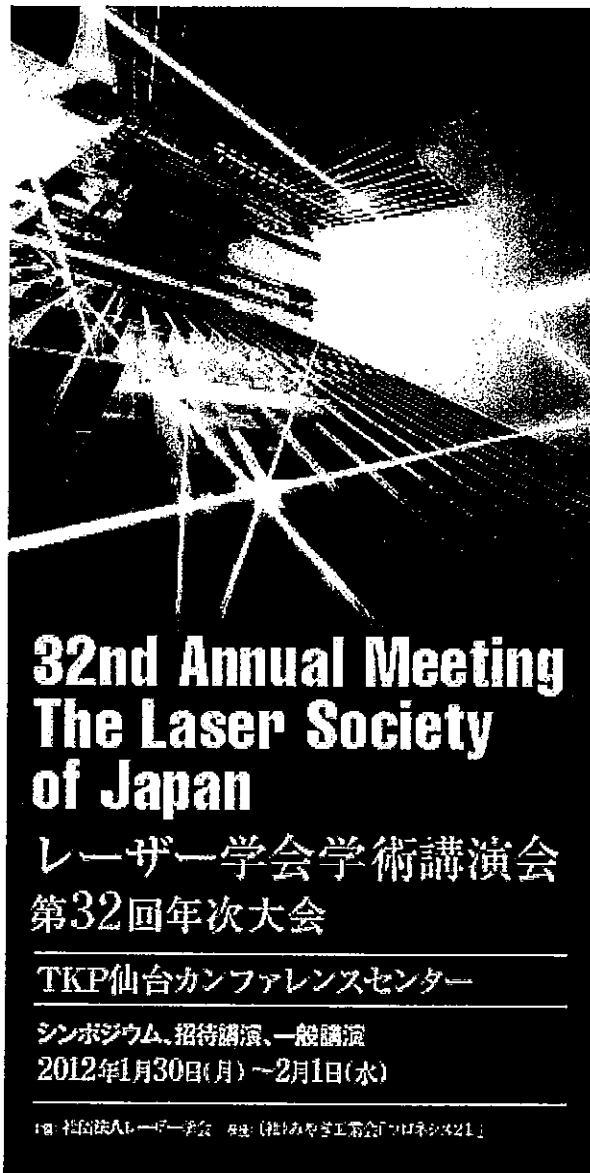
会場の写真撮影

懇親会の司会進行

(3) 申し送り事項

- ・ 会場が駅から徒歩3分の好立地であったため、宿泊案内、昼食案内、参加者への弁当の手配は一切行わなかったが、特に参加者から不満等は無かった模様。
- ・ 実行委員長の判断で今回は保険の加入は行わなかったが、アルバイト学生が一名、通勤中に自転車で転倒して怪我をする事故が発生した。軽傷のため事なきを得たが、万が一ということもあるので今後は加入すべき。
- ・ 本部付けのアルバイト学生2名には、電話番、落とし物の管理、お茶の手配などの本部関連業務以外にも懇親会の準備、看板の出し入れ、写真撮影などの雑務もお願いした。本部関連のみでは手持ち無沙汰となるので、今後は雑務全般を担当するとして受付業務や会場業務なども積極的に担当するようにすべき。
- ・ 地方開催の場合、大会前2回の委員会開催、および大会後委員会の省略は適切。但しメール等による委員長、総務、事務局の密接な連絡が必要。

入口看板デザイン



**32nd Annual Meeting  
The Laser Society  
of Japan**  
レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

---

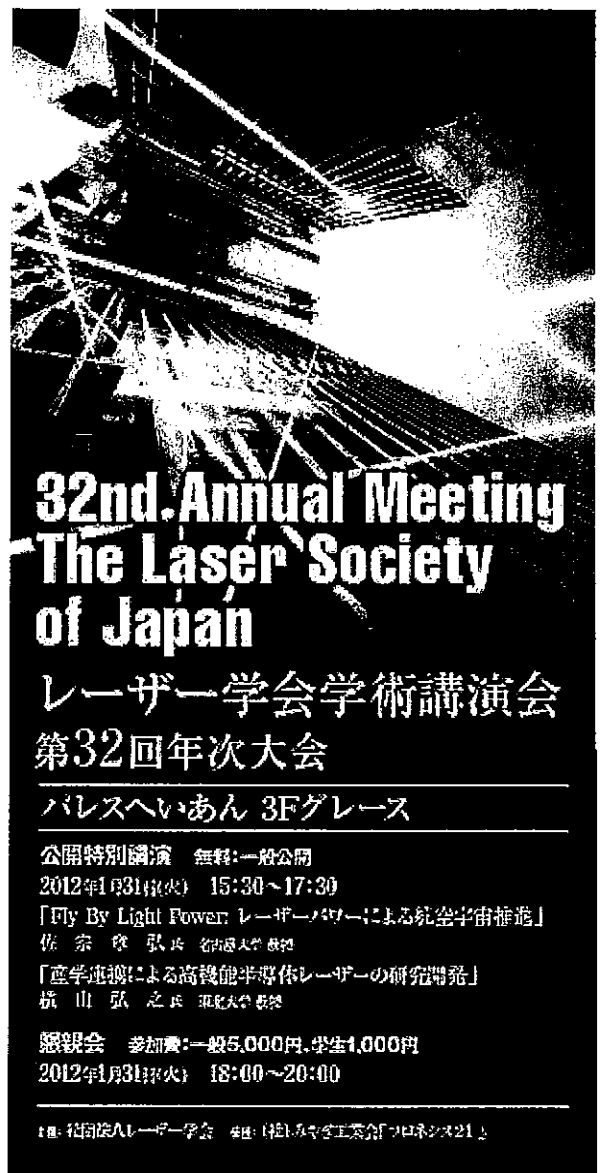
TKP仙台カンファレンスセンター

---

シンポジウム、招待講演、一般講演  
2012年1月30日(月)～2月1日(水)

---

〒980-0855 仙台市青葉区大森1-1-1  
〒980-0855 仙台市青葉区大森1-1-1



**32nd Annual Meeting  
The Laser Society  
of Japan**  
レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

---

パレスへいあん 3Fグレース

---

公開特別講演 無料:一般公開  
2012年1月31日(火) 15:30～17:30  
「Fly By Light Power: レーザーパワーによる航空宇宙推進」  
佐宗 悠 弘 名古屋大学 教授

---

「産学連携による高機能半導体レーザーの研究開発」  
横山 弘 之 東北大学 教授

---

懇親会 参加費:一般5,000円、学生1,000円  
2012年1月31日(火) 18:00～20:00

---

〒980-0855 仙台市青葉区大森1-1-1  
〒980-0855 仙台市青葉区大森1-1-1



(総務資料2)

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

**実行委員会**

委員長

松浦 祐司

**実行委員会**

展示会実行委員長

山本 和久

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

**実行委員会**

副委員長

星宮 務

**実行委員会**

展示会事務局長

上野 直樹

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

**実行委員会**

顧問

植田 憲一

**実行委員会**

展示会実行委員

大沢 哲夫

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

**実行委員会**

プログラム委員長

上杉 直

**現地実行委員会**

総務係

片桐 崇史

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

レーザー学会学術講演会  
第32回年次大会

**実行委員会**

プログラム委員会副委員長

南出 泰亜

**現地実行委員会**

会計係

加藤 祐次

## 2.2 会計係

加藤 祐次 (主査)

協力：牧野理恵 (事務局)

### 1. 概要

今回の第32回年次大会は、東日本大震災後の被災地仙台での開催であった。しかしながら、大会賛助金および広告収入は予算額に達しなかったが前回に比べ増収となり、震災後の経済状況を考えれば非常にありがたい結果となった。また、大会および懇親会参加費等の収入としては、ほぼ予算より通りの収入となり、地方開催としては比較的多くの方に参加頂くことができた。これらの結果は、委員各位、事務局およびその他関係者のご尽力によるところが大きく、よって全体の収支については予算案の赤字幅を圧縮することができた。

### 2. 主な作業内容

#### (1) 大会前々日まで (～1/28)

- ・口座開設 (七十七銀行) (実行委員長の協力)
- ・賛助金入金確認 (実行委員長の協力)
- ・各種支払い手続き (実行委員長の協力)
- ・謝金、交通費、アルバイト代の支払い金額の把握 (事務局、アルバイト係と連携)
- ・封筒、領収書準備 (事務局と連携)
- ・現金授受手順の打ち合わせ (受付係と連携)
- ・釣銭、支払い用現金準備と管理  
(釣銭 5千円×50枚、1千円×200、支払い用現金 10万円+小銭)
- ・入出金先の現地確認 (七十七銀行名掛丁支店)
- ・アルバイト代袋詰めと管理

#### (2) 大会前日 (1/29)

- ・会場内会計係作業場所 (現金取扱場所) の設置 (受付背後)
- ・受付係との現金授受に関する最終打ち合わせ
- ・アルバイト代支給および領収書回収
- ・アルバイト代、謝金、交通費袋詰めと管理

#### (3) 大会期間中 (1/30～2/1)

- ・受付係との現金受け渡し業務
- ・謝金・旅費支給および領収書回収
- ・アルバイト代支給および領収書回収
- ・各種支払の対応
- ・入金作業と釣銭準備 (七十七銀行名掛丁支店)
- ・入出金額の確認 (チェックシート、受付用紙との照合)

#### (4) 大会終了後 (2/1～)

- ・各種支払手続き (事務局と連携)
- ・広告費等の入金確認

- ・展示会会場費の請求書送付
- ・会計報告書の作成
- ・口座解約と残金処理（事務局と連携）

### 3. 収支について

収支として 1. 概要で述べたとおり赤字決算となったが、当初予算より赤字幅を圧縮できた。会計資料 1 にレーザー学会学術講演会第 32 回年次大会収支決算書、会計資料 2 に年次大会賛助金一覧、会計資料 3 に年次大会広告掲載料を添付する。

### 4. 反省事項および次年度への申し送り事項

#### (1) 銀行口座開設等について

- ・賛助金の入金のため前年の 8 月位までには口座開設すること。
- ・今回、会計主査は開催地在住ではないため、実行委員長に大会前の口座開設および入金確認について協力いただいた。
- ・口座名義は第 32 回レーザー学会年次大会実行委員長（最後に実行委員長名）とした。

#### (2) 現金、通帳、印鑑、カードの管理について

- ・印鑑は実行委員長が管理し、それ以外を主査が管理した。
- ・通帳、現金、カードは小型金庫（主査保有）に入れて保管した。また、会場隣接のホテルを主査の宿泊先とし、移動中の事故がないよう注意を払った（前年度の申し送り事項を参考とした）。
- ・入出金は半日 1 回程度、大会会場より徒歩 5 分程度の支店（七十七銀行名掛丁支店）を利用した。なお、入出金までの移動は必ず 2 名で行った。
- ・口座は広告費等の入金大会終了後となるため、すべての入金を確認した後、年度内の解約までの期間は管理が必要である。

#### (3) 釣銭の準備

- ・釣銭用に多量の紙幣を用意する必要があるため、5 千円札への両替は銀行自動両替機の手数料無料の限度まで行い、1 千円札の両替は ATM で 1 万円の引き出しを両替の形式で幾度も行った。
- ・当初 5 千円札は 50 枚準備したが、アルバイト代現金を含めると本大会では途中で不足が生じそうになったため、1 回目の入金時に再度 50 枚両替して補充した（同銀行の別キャッシュカードがあれば）。

#### (4) 受付係との現金授受、現金照合について

- ・会計係は受付係の背後に作業場所を設置した。
- ・金銭の授受については作成したチェックシートを利用し注意を払った。特に、参加者記載の申込用紙とチェックシート記載内容との照合および現金の照合については、受付係とのダブルチェックは入念に行った。このチェック手順については、受付係の協力による十分な事前準備により、当日は大きなトラブルがなく円滑に行うことができた。

(5) アルバイト代、特別講演者謝礼・交通費支給について

- ・アルバイト代の支給は支給人数が多いため、アルバイト系の協力も得た。
- ・特別講演者謝礼・交通費の支給は、特別講演者とのコンタクトは機会が少ないため、事務局および受付係と連携が重要である。また、今回は特別講演会場が大会会場と別会場であったため、本会場の受付に来られなかった講演者がいた。そのため、特別講演会場が異なる場合は注意が必要である。

以上

## 第 32 回年次大会収支計算書

(単位：円)

科目	予算額 a	決算額 b	差異 a-b	備考
<b>I. 収入の部</b>				
1. 賛助金・助成金	2,500,000	1,800,000	700,000	100千円/口×18口 *1
2. 参加費収入	1,810,000	1,918,000	△ 108,000	
正会員収入	1,150,000	1,530,000	△ 380,000	5千円×306人
学生会員収入	100,000	122,000	△ 22,000	1千円×122人
非会員収入	560,000	266,000	294,000	7千円×38人
3. 予稿集販売収入	750,000	585,000	165,000	
当日一般	750,000	585,000	165,000	3千円×195冊
4. 広告収入	500,000	693,000	△ 193,000	
会誌広告収入	500,000	693,000	△ 193,000	約10頁
5. 懇親会	450,000	548,000	△ 98,000	
参加費	450,000	548,000	△ 98,000	5千円×105人, 1千円×23人
<b>収入合計 (A)</b>	<b>6,010,000</b>	<b>5,544,000</b>	<b>466,000</b>	
<b>II. 支出の部</b>				
1. 会場費	2,100,000	1,794,430	305,570	*2
会場借料	1,800,000	1,662,550	137,450	展示会場費240千円控除
会場設営費	300,000	131,880	168,120	レンタル料舎
2. 会議費				
会場費+交通費	1,600,000	1,729,190	△ 129,190	
3. 予稿集印刷費	1,100,000	1,154,270	△ 54,270	送料込
4. 印刷費	320,000	273,665	46,335	
講演案内, 参加章他	80,000	49,665	30,335	
次第書	100,000	100,000	0	
ポスター	100,000	84,000	16,000	
公開特別講演予稿集	40,000	40,000	0	
5. アルバイト	630,000	432,250	197,750	総時間432.25h
6. 講演者交通費, 謝礼	160,000	101,000	59,000	
公開特別講演講師謝礼	60,000	60,000	0	謝礼
交通費	100,000	41,000	59,000	交通費
7. 懇親会費	1,000,000	1,034,655	△ 34,655	90人×約7千円+会場費他
8. 通信費	100,000	56,330	43,670	
9. 雑費	350,000	293,311	56,689	弁当代他
10. その他	150,000	13,744	136,256	源泉徴収, 振込手数料等
<b>当期支出合計 (B)</b>	<b>7,510,000</b>	<b>6,882,845</b>	<b>627,155</b>	
<b>収支差異 (C)</b>	<b>△ 1,500,000</b>	<b>△ 1,338,845</b>	<b>△ 161,155</b>	

\*1 展示会賛助金100千円

\*2 展示会場使用料および理事会, 各種委員会の会場使用料を控除後の金額

## 第 32 回年次大会賛助金一覧

No	依頼先	会員区分	口数	金額(円)	応募実績	請求/領収	入金	備考
1	浜松ホトニクス(株)	学会賛助会社	2	200,000	20~32回	請求済	入金済	
2	カンタムエレクトロニクス(株)	学会賛助会社	1	100,000	20~32回	請求済	入金済	
3	東明技研(株)	学会賛助会社	1	100,000	32回	請求済	入金済	
4	(株)東芝	学会賛助会社	1	100,000	31~32回	請求済	入金済	
5	(株)東京インスツルメンツ	学会賛助会社	1	100,000	28~32回	請求済	入金済	
6	(株)片岡製作所	学会賛助会社	1	100,000	27~32回	請求済	入金済	
7	(株)日本レーザー	学会賛助会社	1	100,000	29,30,32回	請求済	入金済	
8	サイバーレーザー(株)	学会賛助会社	1	100,000	32回	請求済	入金済	
9	三菱電機(株)	学会賛助会社	1	200,000	20~32回	請求済	入金済	
10	メガオプト	実行委員紹介	1	100,000	31~32回	請求済	入金済	
11	仙台観光協会	実行委員紹介	3	300,000	32回	請求済	入金済	
12	(株)オプトサイエンス	学会賛助会社	1	100,000	29,32回	請求済	入金済	
13	(株)光学技研	学会賛助会社	1	100,000	32回	請求済	入金済	
14								
15								
	合 計			1,700,000				
	参考:予算額			2,500,000				

合計

\* (株)オプトロニクス社展示会賛助金 100,000

応募賛助金, 展示会賛助金合計	<u>1,800,000</u>
-----------------	------------------

## 第32回年次大会広告掲載費

掲載区分	会社名	カラー	掲載料	備考
*表紙2	(有)ブロードバンド	×	72,500円	
*表紙2対向	(株)日本レーザー	○	100,000円	
*表紙3	シグマ光機(株)	×	58,000円	
*表紙3対向	オプサイエンス	×	50,000円	
*表紙4	コヒレントジャパン(株)	×	74,000円	
目次対向	フラクシ株式会社/有ボックス	×	62,500円	
前付頁	(株)オフィールジャパン	×	42,000円	
前付頁	ミヤチテクノス	×	42,000円	
前付頁	ソーラボジャパン	×	42,000円	
後付頁	(有)ナカジマ技術	×	50,000円	
後付頁	オプトテック(株)	×	50,000円	
後付頁	導光技術合同会社	×	50,000円	
後付頁		×	円	
前付頁		×	円	
後付頁		×	円	
合計		12件		693,000円

## 2.3 受付係

佐藤 学 (主査)

### 1. 概要

受付係の担当は、受付会場の配置、名簿・物品準備、受付設営、大会期間中の受付、参加費の撤収などであり、受付業務は、参加費徴収、予稿集販売、関係資料配布、懇親会参加費徴収、座長・採点者への採点表等の袋詰めの配布を含む。それらの準備作業、実施状況、および今後の参考として申し送り事項について述べる。

### 2. 受付実績

#### 1) 講演会

	1月30日	1月31日	2月1日	合計
正会員	177	77	40	294
非会員	17	14	7	38
学生会員	78	26	18	122
合計	272	117	65	454
賛助会員				52
総数				506

#### 2) 懇親会

一般	103
学生	23
合計	126

招待講演者は、会員として参加費をいただいたため、受付では会員として登録した。賛助会員は、あらかじめ参加章が郵送されていたため、受付にて登録された会員数のみとした。参考までに、第31回、第30回、第29回の受付総数は、607名、500名、473名であった。公開特別講演会では参加者数は約180名で、記名をお願いした大会参加者以外の参加者は10名であった。

### 3. 業務内容

#### 1) 事前作業

##### ・受付名簿の作成

公開特別講演者・受賞記念講演者・招待講演者・シンポジウム講演者・座長・採点者・実行委員・現地実行委員・プログラム委員・組織委員・レーザー学会理事・名誉会員などの名簿をレーザー学会事務局からもらい、参加費、予稿集、懇親会、配布物などが区別できるように、50音順に整理した名簿を作成する。

##### ・受付用紙の作成 (基本的に参加者全員記入)

##### ・受付機等の手配とレイアウト (会場及び会場係との打ち合わせにより決定、受付資料として添付)

##### ・受付の表示の作成

##### ・アルバイトの手配 (今回はクロークも含めて7名)

##### ・受付作業手順書の作成

#### 2) 前日作業

##### ・受付机、椅子、パーテーションなどの準備・設営

##### ・プログラム、各種参加章などの確認・準備



- ・受付事務作業キットの確認(事務局より送付)
- ・配布物の確認・準備、受付案内の貼付
- ・アルバイトへの作業説明
- ・会計との現金の引き渡し等の確認

### 3) 当日作業

- ・作業手順書に従った受付作業のリハーサル(作業手順書は受付資料として添付)
- ・受付作業の実施、受付状況の把握
- ・各種問い合わせへの対応

## 4. 実施状況

### 1) 事前作業

受付は、基本的に一般受付と特別受付を設け、事務局より送付された各種名簿を元に特別受付用名簿を作成した。賛助企業・会員関係の名簿と現地実行委員・アルバイト用の名札は事務局が準備した。事務局に従い、受付業務に必要な文房具は会計係と連携して調達した。

### 2) 前日作業

受付机などの設営、およびアルバイトに作業内容を作業手順書に従い説明した。招待講演者、座長、採点者への配布資料の封筒などは事務局が事前に準備した。机、椅子、パーテーション等を配置して、受付の設営を行い、送付された予稿集、会議次第書を配置して、特別受付、一般受付、入会者受付、クローク受付、予稿集販売・懇親会受付ができるよう各種名簿、領収書等を配置した。

### 3) 当日作業

つり銭を会計から受け取り、領収書等を確認・記録し、特別受付2列、一般受付3列、入会者受付、クローク受付、予稿集販売・懇親会受付と現地実行委員及び事務局で対応した。初日の午後は若干行列が見られたが、特に問題なく順調に滞りなく受付業務を実施できた。今回は、昨年からの申し送り事項に従って、受付用紙を準備して全員に記入を依頼し、各受付にて参加費、予稿集、懇親費を同時に徴収した。全員が受付用紙を記入すること、一般受付と特別受付の区分を受付用紙に明記したこと、一般受付の際、特別受付でないことをその都度確認したことで、スムーズに進行できた。また、各受付は、混雑状況を考慮し、受付用紙、受付シート、現金を、会計にその3点を双方で確認して引き渡した。当日の終了時は、参加章兼領収書との残数も確認し、現金を含む3点を全て会計に引き渡した。会計係が作成した受付シートの活用により、円滑に業務を行えた。

## 5. 問題点と申し送り事項

賛助会員については、昨年と状況は同様であった。賛助会員企業に参加票が配布されていたため、受付を素通りすることで十分な集計ができない可能性がある。参加章引換券の配布に改めることで正しく受付の集計ができるようになると思われる。

### 【提案】

昨年も提案されたが、ウェブサイトや学会誌等で、受付用紙のフォームをコピーできるようにし、事前に記入して持参できるようなシステムにすることで、会場当日での受付をよりスムーズにできると期待される。

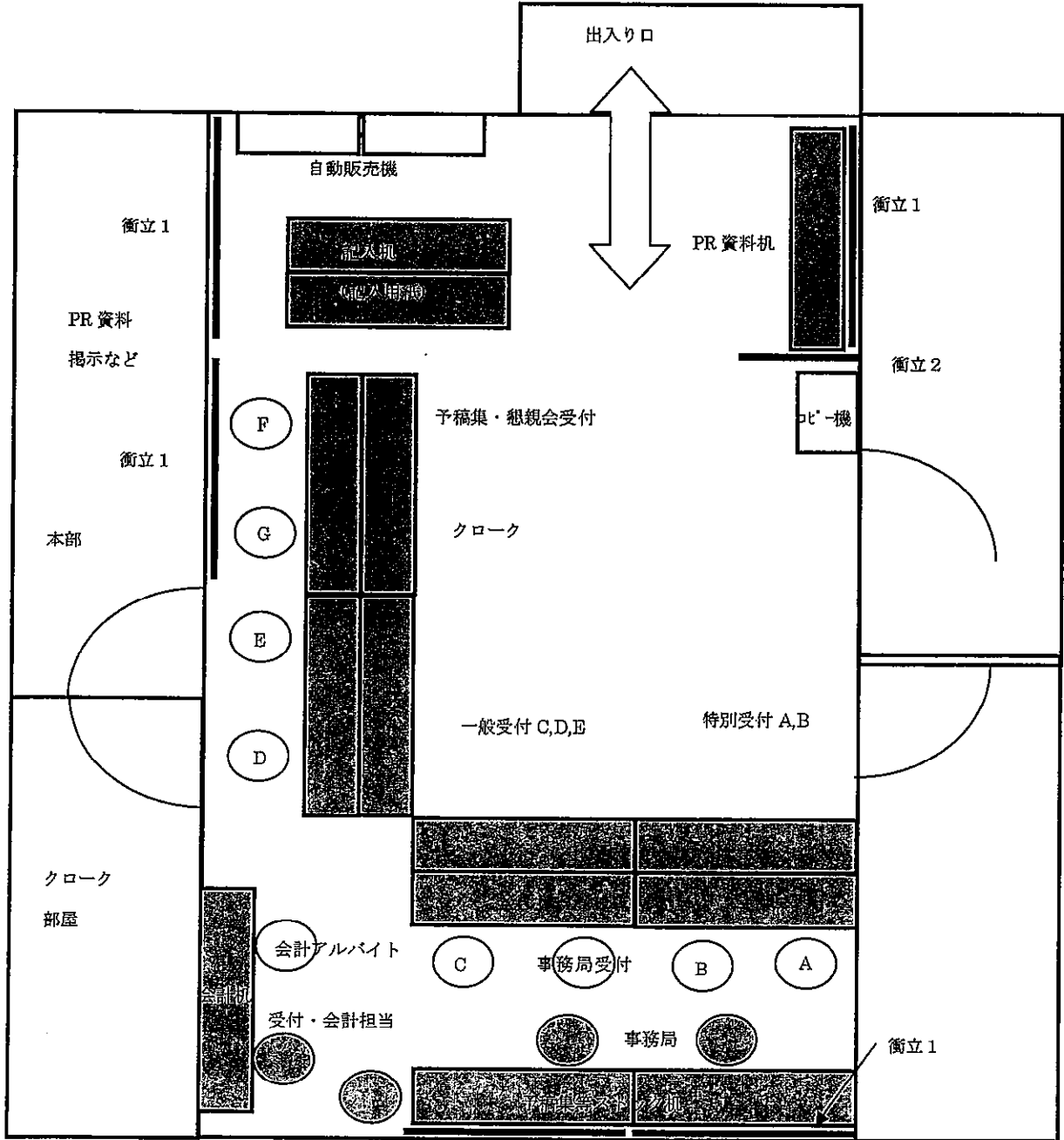
(受付資料1)

1. 受付設置場所と受付配置図

TKP仙台カンファレンスセンター、3Fフロア

受付案内は1Fエレベータ前、エレベータの混雑を避けるため隣の階段にも案内を表示した。フロア入り口右手は受付用紙記入コーナーで、奥の受付コーナーは、8列の受付体制を取った。

受付フロアスペース：8.5m x 5.4m



## 2. スケジュール

担当	1/29 前日	30 初日		31 2日目		2/1 3日目		
特別受付-A	準備 19:00-21:00	準備 9:00-12:00	受付 12:00-18:00	準備	受付 8:30-8:40, 8:40-15:30	準備	受付	撤収
一般受付-C	↓	↓	↓		↓			↓
一般受付-D	↓	↓	↓		↓			↓
特別受付-B	↓	↓	↓		準備 受付 8:30-8:40, 8:40-14:00, 14:00-18:00 特別講演関係			休み
一般受付-E	↓	↓	↓		↓			休み
予稿集販売 懇親会受付 -F	↓	↓	↓		準備 受付 8:30-8:40, 8:40-12:00 17:30-20:00 懇親会関係			休み
クローク-G	↓	↓	12:00-18:00	準備	受付 8:30-8:40, 8:40-15:30	準備	受付	撤収
						8:30-8:40, 8:40-17:00, 17:30-18:00		

## 3. 大会前日作業

平成24年1月29日(日) TKP仙台カンファレンスセンター、3Fフロア

1) 現地実行委員会 直前の準備確認と今後の予定確認

2) 受付設営

机、椅子、パーテーションの設置

受付フロア内の案内掲示、建物内の誘導の案内掲示

2) 名簿確認

特別受付名簿(公開特別講演者・受賞記念講演者・招待講演者・シンポジウム講演者・座長・採点者・実行委員・現地実行委員・プログラム委員・組織委員・レーザー学会理事・名誉会員など)

賛助企業名簿

3) 記名用紙確認 特別講演会参加者用記名用紙

4) 本部事務局送付品の確認(総務、事務局との共同作業)

- ・大会参加章、大会プログラム、予稿集、花リボン
- ・座長・採点者用封筒(封筒を50音順に並べる。)

5) 特別招待講演者用資料封筒詰め

6) 配布資料確認 総務が準備した市内の観光案内資料・紙袋の確認

## 4. 大会当日

平成24年1月30日(月) 12:00 受付開始

【受付マニュアル】

1) 一般参加者受付(会員、非会員、学生会員)

- ・受付表示は「一般受付」とする。
- ・会計からのつり銭、各種領収書等の枚数を確認して受付開始とする。
- ・受付用紙を受け取る、未記入者には受付用紙記入コーナーで記入してもらう。
- ・特別受付対象者でないことを確認する。特に、座長・採点者の方に注意する。間違っても来られた方には、特別受付を紹介する。
- ・受付用紙にて、会員、非会員、学生会員を確認し、参加費(会員:5,000円、非会員:7,000円、学生会員:1,000円)、予稿集代(3,000円)、懇親会参加費(一般5,000円、学生1,000円)を徴収する。

- ・参加章ならびに大会プログラム、懇親会参加章、予稿集、観光案内などの紙袋を手渡す。
- ・非会員には、入会を勧める。
- ・懇親会参加の勧誘をする。懇親会受付終了後は、掲示を外し、勧誘を止める。
- ・各領収書の枚数とつり銭を含む現金が一致することを確認し、受付用紙、受付シート、現金の3点を会計に渡し、双方で確認して終了とした。

## 2) 特別参加者の受付

- ・特別受付対象者は、特別受付名簿と賛助企業名簿の記載者である。
- ・今回は、特別受付を2列とし、「招待講演者受付」、「座長・採点者受付」、「委員・学会関係者受付」を区別しなかった。時間を見て、特別受付Aの名簿に出席状況をまとめた。
- ・会計からのつり銭、各種領収書等の枚数を確認して受付開始とする。
- ・お名前を伺い、特別参加者名簿の出欠欄に○を記し、参加費徴収の有無、予稿集贈与の有無、懇親会招待などを確認する。
- ・参加費免除者以外は参加費を徴収し、領収章を渡す。
- ・参加費免除者の領収書には金額の欄に「ご招待」を朱印する。
- ・参加章、大会プログラム、予稿集、懇親会参加章などを名簿に従って渡す。
- ・予稿集引換券を持っている方には、引換券を受け取り、予稿集を渡し、記録する。
- ・座長・採点者には採点表などの資料の入った封筒を渡す。(これは事前の郵送資料と同一のものも含まれている。)
- ・公開特別講演者は旅費、謝礼の支給があるので、本人と会計係に知らせる。
- ・懇親会の勧誘を行う。
- ・賛助会員、賛助企業等で引換券を忘れた方には、名簿で確認し、名簿に記入の上、予稿集を渡す。
- ・各領収書の枚数とつり銭を含む現金が一致することを確認し、受付用紙、受付シート、現金の3点を会計に渡し、双方で確認して終了とした。

## 3) 入会受付

- ・学会事務局の指示により入会受付を行う。

## 4) 公開特別講演会受付

- ・参加費は無料である。
- ・受付は会場前に設け、大会参加者以外には、記名用紙を準備した。
- ・講演会の予稿集(100部)を、受付にて無料配布とした。

第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加費免除	予稿集送呈	懇親会招待	旅費・謝礼	公同特別講演	受賞記念講演	招待講演	シンポジウム	座長	採点者	プログラム委員	実行委員	現地実行委員	組織委員
青木伸之	あおき のぶゆき	千葉大学大学院融合科学研究所	招待講演F		○					○							
秋葉正博	あきば しょうひろ	(株)トプロン アイケアビジネスユニット	座長I, 採点I, プログラム委員I		○							○	○	○			
秋山順	あきやま じゆん	自然科学研究機構 分子科学研究所 分子制御レーザ一開発研究センター	招待講演B		○					○							
秋山靖裕	あきやま じやうよ	(株)東芝	組織委員		○												○
芦原 隆	あしはら たか	東京農工大学	座長B, プログラム委員B		○							○	○				
足立 俊輔	あだち しゆんすけ	京都大学 理学研究科化学専攻	受賞記念講演S5		○	○			○								
薬津 邦男	あわす くにゆき	大阪大学 大学院工学研究科	招待講演I, 座長I, 採点I, 組織委員		○					○							○
石井 啓之	いしい けい	NTTフオトニクス研究所	招待講演G		○					○							
石黒 宏明	いしぐろ ひろあき	株式会社アマダ レーザ発振器開発部	シンポジウムS1		○						○						
石原 照也	いしはら てるなり	東北大学 大学院理学研究科	座長A, プログラム委員A		○							○					
石原 美弥	いしはら みよ	防衛医科大学校 医用工学講座	座長I+S2, 採点I, プログラム委員I+S2		○							○	○	○			
石丸 伊知郎	いしまる いちろう	香川大学 工学部 知能機械システム工学科	招待講演I		○					○							
井須 俊郎	いす しゆん	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス 研究部 フロンティア研究センター	招待講演F		○					○							
市川正敏	いちかわ まさとし	京都大学大学院理学研究科	招待講演A		○												
稲場 肇	いなば 肇	産業技術総合研究所 計測標準研究部門 時間周波数科 波長標準研究室	座長E, プログラム委員E		○								○				
茨田 大輔	いばた だいすけ	宇都宮大学大学院工学研究科 先端システム工学専攻	招待講演H		○					○							
井村 考平	いむら こうへい	早稲田大学理工学術院 先進理工学部 化学・生命化学科	招待講演F		○					○							
入江 正浩	いりえ しょうこう	立教大学 理学部化学科	招待講演F		○					○							
岩井 亮全	いらい しょうぜん	仙台高等専門学校	現地実行委員		○											○	
岩井 伸一郎	いらい しのいちろう	東北大学大学院理学研究科	招待講演A		○					○							
上杉 直	うえすぎ なお	東北工業大学工学部	プログラム委員長		○												
上田 潔	うえだ けつ	東北大学多元素物質科学研究所	招待講演A		○					○							
植田 寛一	うえだ かんいち	電気通信大学レーザ一新世代研究セン ター	実行委員会 顧問、招待講演B, 前期実行委 員会 展示会事務局 局長		○					○							
上野 直樹	うえの なおき	(株)オプトロニクス社	実行委員会 展示会事務局 局長		○												
内田 貴司	うちだ かつし	東洋大学 理工学部	招待講演E		○					○							
江島 文雄	えじま ぶんゆう	東北大学多元素物質科学研究所	招待講演E		○					○							
江幡 孝之	えぼた たかゆき	広島大学大学院理学研究科化学専攻	招待講演A		○					○							
近江 雅人	おんみ まさひと	大阪大学 大学院医学系研究科	座長I, 採点I, プログラム委員I		○												
大越 昌幸	おおし 昌幸	防衛医科大学校 電気情報学群	プログラム委員D		○												
大沢 哲夫	おおさわ たくふ	(株)オプトロニクス社	現地実行委員 展示会委員		○												○
大田 龍夫	おおた りゆう	関西電力(株)	組織委員		○												
大谷 知行	おおたに ちゆう	理化学研究所	プログラム委員S4		○												○

第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加費免除	予備費進呈	懇親会招待	旅費・補給	公開特別講演	受賞記念講演	招待講演	シンポジウム	座長	採点者	プログラム委員	実行委員	現地実行委員	組織委員
大道 博行	おおどう	(独)日本原子力研究開発機構	組織委員														
大野 誠吾	おおの	東北大学大学院理学研究科	招待講演F 名譽委員	○													
岡久雄	おかく	九州大学	組織委員		○												
岡田 龍雄	おくだ	九州大学	組織委員		○												
小栗 克弥	おぐり	日本電信電話(株)NTT物性科学基礎研究所	座長C、採点C、プログラム委員C		○							○					
尾崎 典雅	おさき	大阪大学大学院工学研究科	座長C、プログラム委員C		○							○					
尾崎 美勇	おさき	東京電機大学大学院工学研究科	招待講演H		○												
尾辻 泰一	おつじ	東北大学 電気通信研究所	招待講演F		○												
小町 祐一	おまち	株式会社 町田製作所	招待講演E		○												
尾松 孝茂	おまつ	千葉大学大学院融合科学研究科	招待講演D		○												
小山 二三夫	おやま	東京工業大学 精密工学研究所 フォトニクス集積システム研究センター	シンポジウムS3		○						○						
郷 和朗	かく	東海大学 理学部	座長E、プログラム委員E		○							○					
片桐 崇史	かたぎり	東北大学 工学研究科	現地実行委員		○											○	
堅直也	かたし	東北大学 工学系研究科	招待講演H		○												
桂川 眞幸	かつらが	電気通信大学	プログラム委員A		○												
加藤 義章	かとう	光産業創成大学院大学	組織委員会 副委員長		○												
加藤 祐次	かとう	北海道大学	現地実行委員		○												
香取 秀俊	かとり	東京大学大学院 工学系研究科	受賞記念講演S5		○				○								
金井 美一	かない	株式会社ジェネシア	招待講演E		○												
金森 賢明	かなもり	東北大学 大学院工学研究科	座長S3		○												
川田 晋正	かわた	静岡大学	組織委員		○												
神成 文彦	かんなり	慶應義塾大学 理工学部	座長、プログラム委員I、組織委員		○							○					
岸本 哲夫	きしもと	電気通信大学	プログラム委員A		○												
喜連川 隆	きつねがわ		プログラム委員A		○												
桐山 博光	きりやま	(独)日本原子力研究開発機構 関西科学研究所	名譽委員	○													
金城 政孝	きんじょう	北海道大学 大学院先端生命科学研究所	座長B、採点B、プログラム委員B		○							○					
久保田 寛和	くぼた	NTT 未来なつと研究所	招待講演I		○					○							
黒澤 宏	くろさわ	(独)科学技術振興機構	座長G、プログラム委員G		○							○					
黄 晋二	こう	奈良先端科学技術大学院大学	座長S5		○												
興 雄司	こう	九州大学 大学院システム情報科学研究科	組織委員、プログラム委員S5 座長F、プログラム委員F		○							○					
小林 淳	こばやし	東京大学大学院工学系研究科	座長B、採点B、プログラム委員B、シンポジウムS2		○							○					
是枝 聡肇	これえだ	東北大学 大学院理学研究科	招待講演A		○												
斎川 次郎	さいかわ	株式会社高津製作所 厚木工場	座長A、プログラム委員A		○							○					
齋木 敏治	さいき	慶應義塾大学理工学部電子工学科	座長B、採点B、プログラム委員B		○							○					
齊藤 晋型	さいとう	北海道大学 大学院情報科学研究科	招待講演D、採点D		○												
			招待講演G		○												

第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加費免除	予備案進呈	懇親会招待	旅費・謝礼	公開特別講演	受賞記念講演	招待講演	シンポジウム	座長	採点者	プログラム委員	実行委員	現地実行委員	組織委員
坂田 肇	さかた 肇	静岡大学工学部電気電子工学科	招待講演B		○					○							
阪部 周二	さかべ 周二	京都大学	組織委員		○												○
佐々木 実	ささき 実	豊田工業大学 工学部	シンポジウムS3		○						○						
佐々田 博之	ささだ 博之	慶應義塾大学 理工学部 物理学科	招待講演E		○					○							
佐宗 章弘	さそう 章弘	名古屋大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻	公開特別講演	○	○	○	○	○									
佐多 教子	さた 教子	東北大学大学院工学研究科 機械システムデザイン工学専攻	招待講演D	○	○					○				○			
佐藤 馬	さとう 馬	東北工業大学	プログラム委員会 幹事	○	○												
佐藤 俊一	さとう 俊一	東北大学 多元物質科学研究所 プロセスシステム工学研究部門	座長E, 採点E, プログラム委員E, 招待講演B, B、	○	○					○			○	○			
佐藤 正健	さとう 正健	(独)産業技術総合研究所 光技術研究部	採点D, プログラム委員D	○	○									○			
佐藤 学	さとう 学	山形大学 大学院理工学研究科	座長I, 採点I, プログラム委員I, 現地委員	○	○							○	○	○		○	
佐藤 洋平	さとう 洋平	慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科	シンポジウムS2	○	○						○						
鎌倉 信彦	さくら 信彦	大阪大学 レーザ・エレクトロニクス研究センター	座長B	○	○												
椎名 達雄	しいな 達雄	千葉大学 大学院融合科学研究科	座長E, プログラム委員E	○	○							○	○	○			
四方 潤一	しかた 潤一	日本大学 工学部 電気電子工学科	座長A, プログラム委員A	○	○												
實野 孝久	じつの 孝久	大阪大学 レーザ・エレクトロニクス研究センター	座長B	○	○												
柴田 義邦	しばた 義邦	首都大学東京 システムデザイン研究科	招待講演E	○	○					○							
緒田 光一	しもた 光一		名譽会員	○	○												
庄司 一郎	しょうじ 一郎	中央大学 理工学部	座長F, 採点F, プログラム委員F	○	○							○	○	○			
庄子 習一	しょうじ 習一	早稲田大学理工学術院 電子光システム 学科 ナノ理工学専攻	シンポジウムS2	○	○						○						
杉岡 幸次	すぎおか 幸次	(独)理化学研究所 緑川レーザ-物理工学 研究室	座長D, プログラム委員D, シンポジウムS2	○	○									○			
杉崎 隆一	すぎさき 隆一	古河電気工業株式会社 ファイナルフォトニクス研究所	招待講演G	○	○												
杉田 篤史	すぎた 篤史	静岡大学 工学部	座長F, 採点F, プログラム委員F	○	○							○	○	○			
杉田 精司	すぎた 精司	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	招待講演C	○	○					○							
鈴木 薫	すずき 薫	日本大学 理工学部	招待講演D, 座長D	○	○												
鈴木 裕之	すずき 裕之	東京工業大学	座長H, 採点H, プログラム委員H	○	○							○	○	○			
鈴木 孝治	すずき 孝治	慶應義塾大学理工学部応用化学科	シンポジウムS2	○	○												
鈴木 将之	すずき 将之	埼玉医科大学	招待講演B	○	○												
鈴木 良和	すずき 良和	オムロン・サーボ(株)	組織委員	○	○												○
須田 亮	すだ 亮	東京理科大学	組織委員	○	○												○
葉島 史政	そつじま 史政	福井工業大学 電気電子情報工学科	シンポジウムS4	○	○												○

第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加費 免除	予発表 進呈	懇親会 招待	格賞・ 謝礼	公開特 別講演	受賞記 念講演	招待 講演	シンポ ジウム	座長	採点者	プログラ ム委員	実行 委員	現地 実行 委員	組織 委員
大坊 真洋	たいほう	岩手大学工学部	座長E, 採点E, プログラム委員E		○							○	○	○			
平等 拓範	たいら	分子科学研究所 分子制御レーザ- 開発研究センター	プログラム委員B		○												
高野 勝美	たかの	山形大学 大学院理工学研究科	採点G, プログラム委員G		○									○			
高野 雅美	たかの	凸版印刷株式会社 総合研究所	招待講演H		○			○									
高橋 栄治	たかはし	理化学研究所 高強度軟X線 アトマル研究チーム	受賞記念講演SS		○	○			○								
式井 慎一	たけい	パナソニック	プログラム委員H		○												
久武 伸太郎	たけひさ	大阪大学 大学院基礎工学研究科 システム創成専攻電子光学領域	採点F		○								○				
田中 耕一郎	たなか	京都大学 iCeMS	座長S4		○							○					
田中 徹	たなか	東北大学 大学院医工学研究科 医用ナノシステム学研究分野	シンポジウムS3		○						○						
田邊 季純	たなべ	慶應義塾大学 理工学部電子工学科	シンポジウムS2		○						○						
谷田 純	たにだ	大阪大学 大学院情報科学研究科	座長H, 採点H, プログラム委員H		○								○	○			
塚本 武志	つかもと	株式会社日立製作所 日立研究所 材料研究センター エネルギー材料研究部	シンポジウムS1		○												
辻 剛志	つじ	九州大学 先端物質化学研究所	採点D		○												
辻 伸二	つじ	(株)日立	組織委員		○												○
土田 美実	つちだ	産学技術総合研究所 電子光技術研究部門	招待講演G		○					○							
常包 正樹	つねかね	分子科学研究所 分子制御レーザ- 開発研究センター	座長B, 採点B		○												
坪井 泰之	つばい	北海道大学 理学院化学部門	座長D, プログラム委員D		○												
富田 廣生	とみた	電気通信大学院 情報理工学研究科	招待講演F		○												
中井 貞雄	なかい	大阪大学	組織委員 委員長		○					○							
中田 芳樹	なかた	大阪大学レーザ-ナノ工学研究センター	座長D		○												○
中野 秀俊	なかの	東洋大学	プログラム委員C		○												
中野 文彦	なかの	オムロン株式会社 インダストリアル オートメーションビジネスカンパニー	シンポジウムS1		○												
中林 孝和	なかばやし	北海道大学 電子科学研究所	座長I, 採点I, プログラム委員I		○												
中村 一隆	なかむら	東京工業大学 応用セラミクス研究所	座長C, 採点C, プログラム委員C		○												
錦野 将元	にしきの	(独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門	座長C, 採点C, プログラム委員C		○												
西澤 典彦	にしざわ	名古屋大学 大学院工学研究科 電子情報システム専攻	招待講演B		○												
二宮 英樹	にのみや	四国総合研究所 電子技術部	招待講演E		○												



第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加免除	予発表進呈	懇話会招待	旅費・謝礼	公開特別講演	受賞記念講演	招待講演	シンポジウム	座長	採点者	プログラム委員	実行委員	現地実行委員	組織委員
野田 進	のだ	京都大学	組織委員		○												○
野竹 孝志	のたけ	理化学研究所テラヘルツ光源研究チーム	シンポジウムS4		○						○						
畑中 耕治	はたなか	東京大学大学院理学系研究科 附属超高速強光子場科学研究センター	招待講演C		○					○							
羽根 一博	はね	東北大学	プログラム委員S3		○									○			
浜本 貴一	はまもと	九州大学	プログラム委員G		○									○			
早崎 芳夫	はやさき	宇都宮大学 オプト研究教育センター	座長D		○												
林 伸一郎	はやし	理化学研究所 テラヘルツ光源 研究チーム	シンポジウムS4、プログラム委員会 幹事		○						○			○			
原田 祥久	はらだ	産業技術総合研究所先進製造 プロセス研究部門	招待講演D		○					○							
半澤 信智	はんざわ	NTTアクセスサービスシステム研究所	招待講演G		○					○							
東口 武史	ひがしぐち	宇都宮大学大学院 工学研究科 学際先端システム学専攻	招待講演C		○					○							
久武 信太郎	ひさたけ	大阪大学	プログラム委員F		○									○			
姫野 邦治	ひめの	フジクラ	プログラム委員S1		○									○			
平野 嘉仁	ひらの	三菱電機(株)情報技術総合研究所	座長B、採点B、プログラム委員B、受賞記念 講演S5		○	○						○	○	○			
平山 秀樹	ひらやま	理化学研究所テラヘルツ 量子素子研究チーム	シンポジウムS4		○						○						
廣岡 俊彦	ひろおか	東北大学 電気通信研究所 超高速光通信研究分野	座長G、プログラム委員G		○							○	○	○			
廣理 英基	ひろり	京都大学 iCeMS	座長S4、シンポジウムS4		○							○	○				
福田 祐仁	ふくだ	(独)日本原子力研究開発機構 量子ビーム応用研究部門	座長C、招待講演C		○							○	○				
藤井 隆	ふじい	(財)電力中央研究所 電力技術研究所	座長C、採点C、プログラム委員C		○							○	○	○			
藤崎 晃	ふじさき	古河電気工業株式会社 次世代レーザー事業推進チーム	シンポジウムS1		○									○			
藤田 尚徳	ふじた	大阪大学レーザーエネルギー学研究所	座長B1、採点1		○							○	○				
藤田 雅之	ふじた	(財)レーザー技術総合研究所	シンポジウムS3組織委員		○						○						○
藤田 克昌	ふじた	大阪大学 大学院工学研究科	招待講演I		○												
古川 裕介	ふるかわ	理化学研究所基幹研究所	招待講演C		○					○							
星宮 秀	ほしみや	東北学院大学工学部	実行委員会 副委員長		○										○		
細谷 英行	ほそや	オプトエナジー(株)	組織委員		○												○
牧村 哲也	まきむら	筑波大学 大学院数理物質科学研究所	座長D、招待講演D		○							○	○				
松浦 祐司	まつうら	東北大学大学院 工学研究科	実行委員会 委員長、現地実行委員		○										○	○	
松尾 繁樹	まつお	徳島大学 ヲプトサイエンス研究部	座長D、プログラム委員D		○											○	
松尾 昌一郎	まつお	(株)フジクラ 光電子技術研究所	招待講演G		○												○
三浦 寛一	みつら	(株)ミウラセンサー研究所	現地実行委員		○												○

第32回年次大会 特別受付名簿

出欠氏名	ふりがな	所属	担当	参加費 免除	予備集 進呈	懇親会 招待	旅費・ 謝礼	公開特 別講演	受賞記 念講演	招待 講演	シンポ ジウム	座長	採点者	プログ ラム委員	実行 委員	現地 実行 委員	組織 委員
南出 泰理	みなみで	理化学研究所基幹研究所	プログラム副委員長S4、現地実行委員		○							○		○			
宮崎 大介	みやざき	大阪市立大学大学院工学研究科	座長H、プログラム委員H		○							○		○			
宮崎 智弥	みやざき	独立行政法人情報通信研究機構 光ネットワーク研究所	招待講演G		○					○							
宮永 憲明	みやなが	大阪大学	組織委員、受賞記念講演S5		○												○
宮本 克彦	みやもと	千葉大学	プログラム委員F		○												
村山 能宏	むらやま	東京農工大学 大学院工学研究院	採点A、プログラム委員A		○							○		○			
村田 智	むらた	東北大学大学院工学研究科	招待講演H		○					○							
村山 明宏	むらやま	ハイオロボティクス専攻	招待講演F		○					○							
望月 孝豊	もちつき	北海道大学 大学院情報科学研究科 情報エレクトロニクス専攻	招待講演F		○					○							
森田 隆二	もりた	兵庫県立大学	組織委員		○												○
八木 重典	やぎ	北海道大学 大学院工学研究院 応用物理学部門	座長A、プログラム委員A		○							○		○			
安井 武史	やすい	三菱電機(株)	組織委員会 副委員長		○												○
安野 嘉晃	やすの	徳島大学 大学院ソフトウェア工学研究部	座長S4、シンポジウムS4		○						○						
矢橋 牧名	やはし	筑波大学 Computational Optics Group	招待講演H		○					○							
山内 薫	やまうち	(独)理化学研究所 層層研究所 放射光科学総合センター	招待講演C		○					○							
山岡 弘人	やまおか	東京大学	組織委員		○												○
山川 孝一	やまかわ	株式会社 IHI 技術開発本部 生産技術センター 溶接技術部	シンポジウムS1		○												
山田 博仁	やまだ	日本原子力研究開発機構 量子ビーム応 用	招待講演B		○					○							
山中 千代衛	やまなか	東北大学大学院 工学研究科	座長F、プログラム委員F、シンポジウムS3 名誉委員		○												
山本 健詞	やまもと	独立行政法人 情報通信研究機構	招待講演H		○												
山本 和久	やまもと	大阪大学光科学センター	組織委員、展示会実行委員長		○					○							○
余語 覚文	よご	日本原子力研究開発機構 関西光科学研究所	受賞記念講演S5		○												
横田 織子	よこた	千葉大学大学院理学研究科 基礎理学専攻	招待講演A		○					○							
横山 弘之	よこやま	東北大学	公開特別講演		○												
吉川 宣一	よしかわ	埼玉大学 理工学研究科	座長H、プログラム委員H		○												
吉田 実	よしだ	近畿大学 理工学部	座長G、プログラム委員G		○												
鷲尾 邦彦	わしお	パラダイムレーザーリサーチ	座長S1、プログラム委員S1		○												
和田 智之	わだ	理化学研究所基幹研究グリーン テクノロジ-特別研究ユニット(株)メガオ	シンポジウムS1		○												
渡辺 明	わたなべ	東北大学 多元物質科学研究所	座長D、プログラム委員D		○												
渡部 裕輝	わたなべ	山形大学大学院理工学研究科	招待講演		○					○							

## 2.4 会場係

南出 泰亜 (主査)

吉田 真人 (副査)

### 1. 概要

第32回年次大会は、2012年1月30日(月)～2月1日(水)の3日間、TKP 仙台カンファレンスセンターにおいて開催された。今回は、レンタル会議室を借り上げての開催であったため、準備品の手配については、通例と幾分異なる点があった。会場の手配は、大会委員長が開催を決定した際に仮予約された(講演会会場8、展示会会場、大会本部室、クローク)。また、特別講演会・懇親会は別会場(パレス平安)にて行った。これに伴い、立て看板の準備等は、講演会会場と合わせて総務係で準備された。会場係の役割は、会誌掲載/次第書/予稿集用会場案内図の作成、講演会会場の機材の確保・管理(パソコンのレンタルの手配を含む)、会場内の各種案内の手配・準備、会場の運営、およびアルバイト学生への作業内容の説明(アルバイトマニュアルの作成)である。以下に、準備過程、実施状況および申し送り事項について述べる。

### 2. 準備過程

2011年5月30日

第1回現地実行委員会が開催された。会場の仮予約は、松浦先生(実行委員長)のお手続きにより、既になされていた。講演会会場(席数)は、第I会場(102席)、第II会場(117席)、第III会場(72席)、第IV会場(90席)、第V会場(117席)、第VI会場(126席)、第VII会場(72席)、第VIII会場(90席)。また、大会本部、クローク、展示会場も予約済みであった。ほぼ、TKP 仙台カンファレンスセンターを借り切る状況であった。

一方、3月11日には東日本大震災があり、開催にあたって会場の状況が心配であったが、幸いにして特に大きな被害もなく、実施できることとなった。

2011年10月31日

第2回現地実行委員会が開催された。プログラム委員によって、コマ割が報告された。会場係主査は、プログラム副委員長を兼務しており、会場の割り当てをそれぞれのセッションの規模を考慮して行った。第2回実行委員会で準備項目の確認が行われた。次に主な準備事項を示す。

- 会場レイアウト図
- 会場案内図
- 会場アルバイトマニュアルの作成
- 会議使用機器(PC、プロジェクタ、マイクなど)

2011年11月9日

ノートパソコン、およびソフトウェア（パワーポイント）のレンタルするため、オリックスレンテック株式会社より見積りを取った。

2011年11月11日

具体的な会場の準備に関して、会場係で打ち合わせを行った。

- 会場担当者との打ち合わせを11月15日9時より現地で行う。
- 準備品のチェック

プロジェクタ、LAN、内看板、案内板、マイク、空調、PCセレクト、受付場所など。

2011年11月15日

TKP 仙台カンファレンスセンターにて、会場担当者と会場係で打ち合わせを行った。

ワイヤレスマイクのチャンネル割り当てが、各会場1チャンネルとなることで了承した。また、展示会会場以外に休憩所がないことから、各フロアの廊下に椅子を準備することとした。プロジェクタ、スクリーン、マイク（有線1、無線1）は、カンファレンスセンターに手配をお願いした。

2011年11月16日

会場アクセス図、および会場案内図の作成、送付した。

2011年11月30日

ノートパソコンのOSをWindowsXPに変更した。パワーポイントは、Office2010をインストールすることとした。

2011年12月19日

LANは、総務係より会場に手配を依頼した。また、無線LANおよび大会本部用のPC、プリンタは総務係による準備を確認した。

2012年1月10日

特別講演会場と会議場が異なることから、総務係と共同して、看板の作成を行った。

2012年1月22日

会場アルバイトマニュアルの作成。

2012年1月29日

第3回現地実行委員会が開催され、準備状況を報告した。会場までの誘導案内板の配置（ペDESTリアンデッキや歩道橋などに配置）に関しては、関係各所より許可がでないことから設置を見送った。オリックスレンテックよりノートパソコンが到着していることを確認した。会場アルバイト係への作業内容の説明（アルバイトマニュアルに基づく）を行った。会場のセットアップは、会議場運営会社が行った。

### 3. 実施状況

2012年1月30日午前

会議開催は13時からであり、午前中に会議場のセットアップの状況確認、パソコンの動作確認、パワーポイントの動作確認、マイクのテスト、空調のテストをアルバイト学生と共に行った。また、会場内に各種案内を設置した。

2012年1月30日13時～2月1日17時

1月31日、2月1日は、8時から会場セットアップ。ポインタの電池、各種機器のチェックを行った。会議場の施設管理は、会議場運営会社によって行われた。

2月1日17時～

講演が終了した会場より、撤収作業を行った。会場内の各種案内の撤去。レンタル品の梱包、撤収。

### 4. 反省と申し送り事項

特段大きな問題は発生しなかった。今回は、会議場をTKP仙台カンファレンスセンターとしたため、運営会社により会場準備作業がなされスムーズな会議運営となった。

実際に起きたトラブルとしては、マイクの故障があり、交換して対応した。

また、注意点を次に示す。

- オリックスレンテックでノートパソコンを発注した場合、最小貸出日数5日となり、会議場での引き取りではなく、持ち帰ってからの引き取りとなる。
- マイクロソフト Office の契約は、各月単位となり、今回の場合、会議を1月、2月とまたがっているため2ヶ月分の利用請求となる。

(添付書類)

- 交通案内、会場レイアウト図
- 会場内の案内
- アルバイトマニュアル
- パソコンレンタル見積り
- 会場借り上げ見積り

## 大会会場への交通案内

### 大会会場へのアクセス

JR 仙台駅西口より徒歩 3 分

市営地下鉄南北線仙台駅徒歩 5 分

### 大会会場住所・連絡先

〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院 1 丁目 2-3

TKP カンファレンスセンター

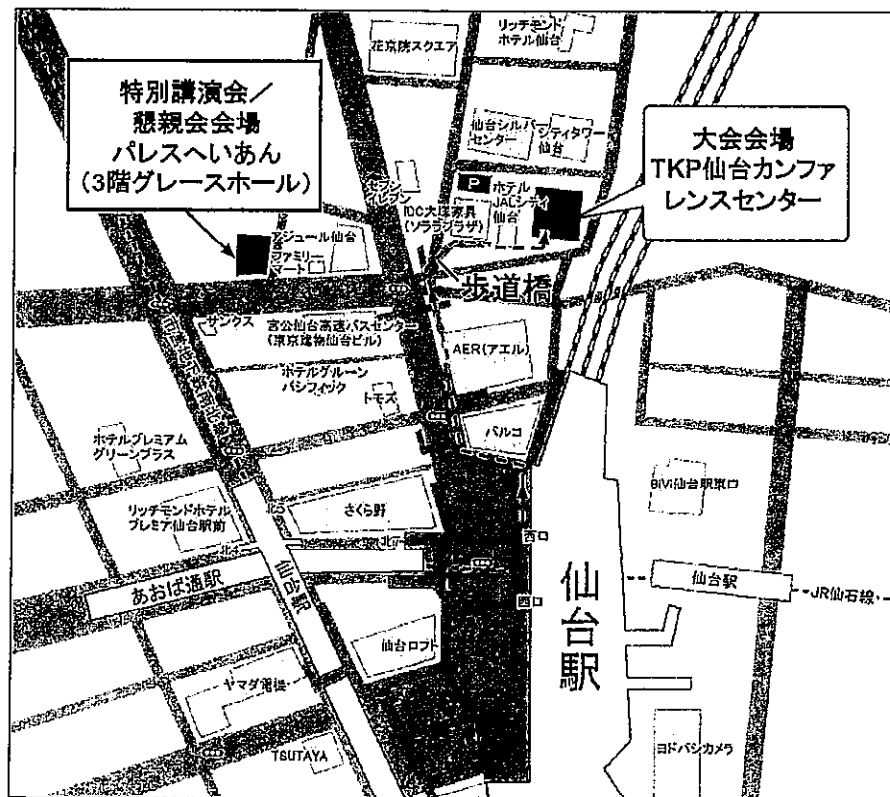
TEL : 022-217-7126

### 特別講演会／懇親会会場住所・連絡先

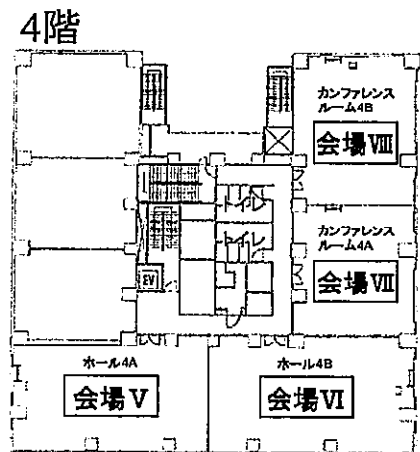
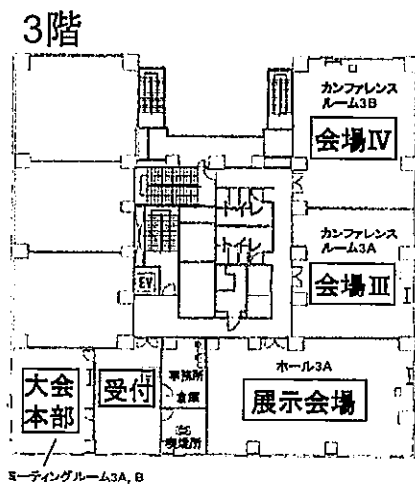
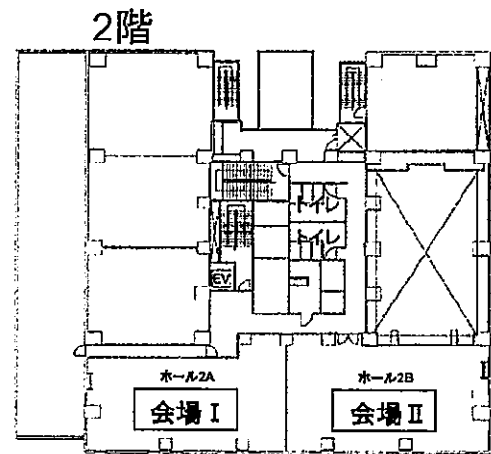
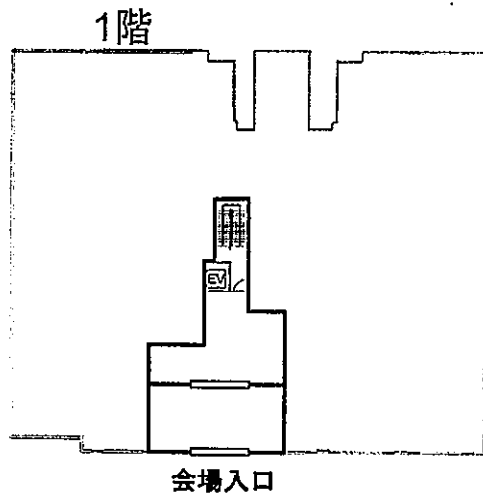
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 1 丁目 2-2

パレスへいあん

TEL : 022-265-5111

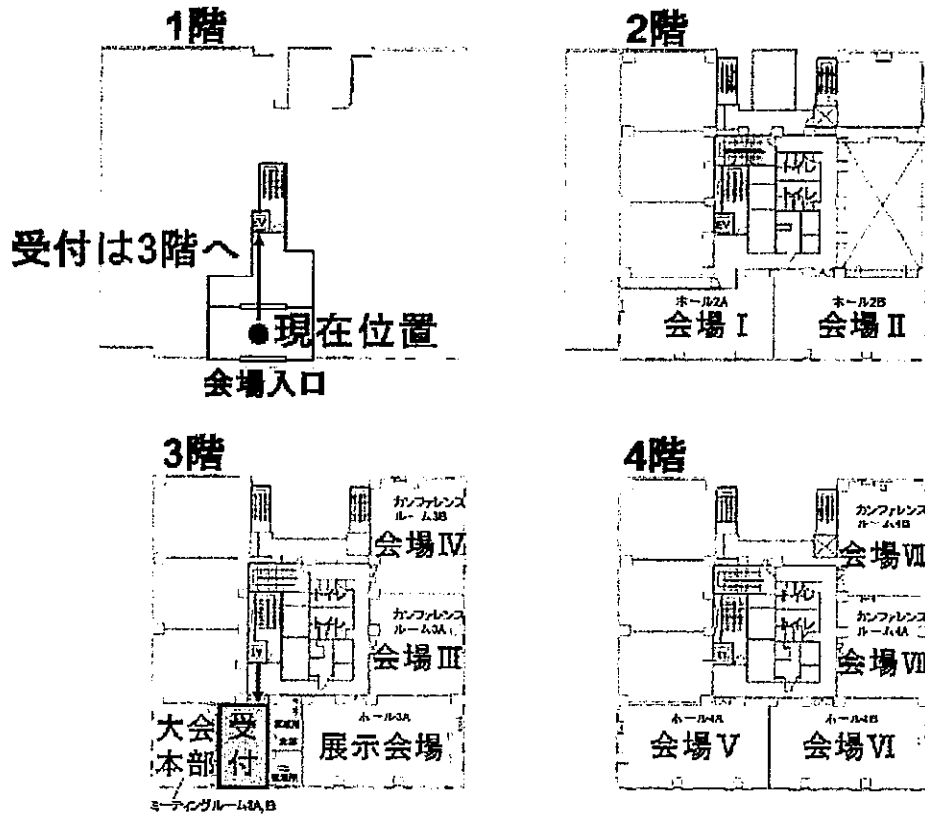


### 第 32 回年次大会会場平面図(TKP 仙台カンファレンスセンター)

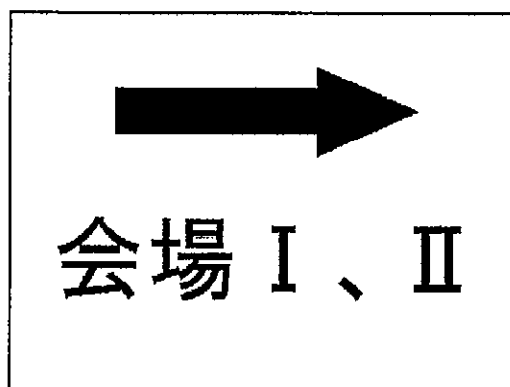
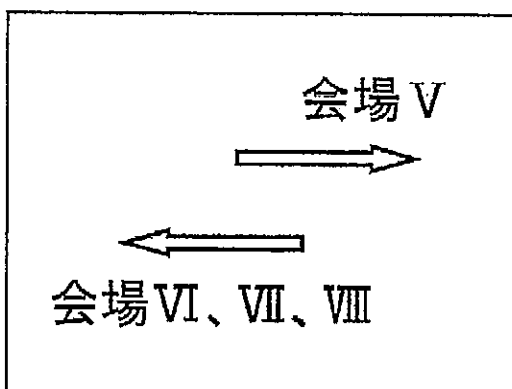
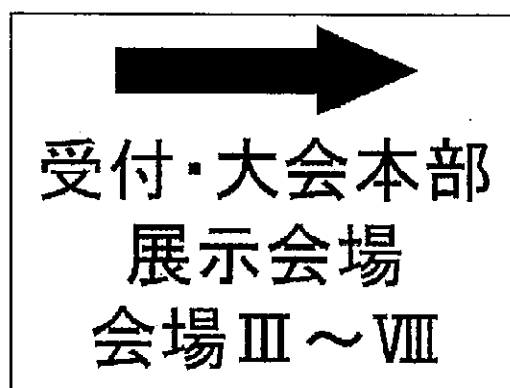
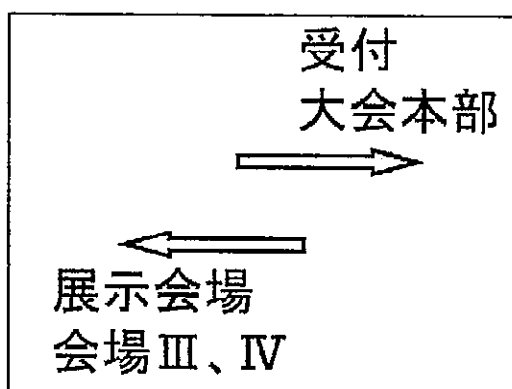
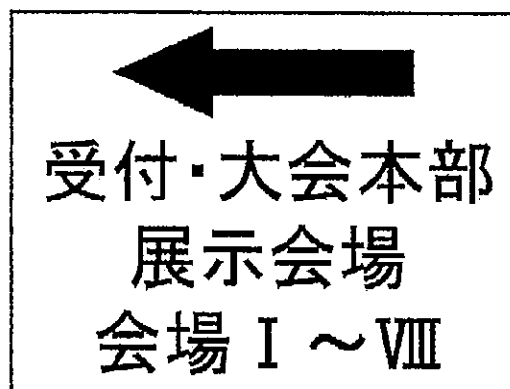
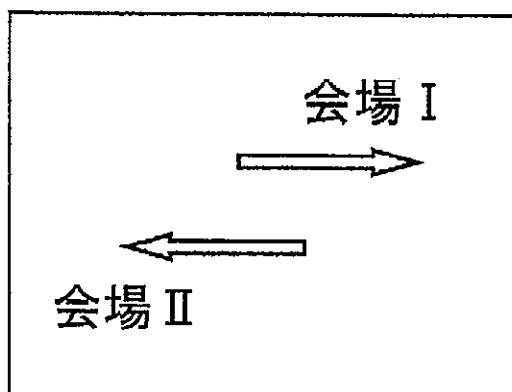


会場内の案内

# レーザー学会第32回年次大会会場平面図









受付・大会本部  
展示会場  
会場Ⅲ、Ⅳ



会場Ⅴ～Ⅷ

会場Ⅰ

会場Ⅳ

会場Ⅱ

会場Ⅴ

会場Ⅲ

会場Ⅵ

会場Ⅶ

展示会場

会場Ⅷ

大会本部

受付

クローク



3階  
総合受付

座長

締切

こちらからは  
入れません

講演者

講演者の方は、  
事前に、  
発表資料を  
備え付けのパソコンへ  
コピーして下さい

【予鈴】  
15分 12分 10分  
3回 2回 1回

質問される方は、  
ご所属とお名前を  
おっしゃって下さい

【予鈴】  
30分 25分 20分  
3回 2回 1回

コピーされた発表資料は、  
学会終了時に  
確実に消去致します

## 会場係アルバイトマニュアル

集合時間：1月29日(日) 19:00  
1月30日(月) 9:00  
1月31日(火) 8:30  
2月1日(水) 8:30

集合場所：TKP カンファレンスセンター3階 ミーティングルーム 3A, 3B (大会本部)

作業分担表：別紙参照

### 一般注意事項：

- ・ 作業終了時間は担当業務により異なるため、作業分担表より各自が担当する作業のスケジュールをしっかりと把握しておくこと。
- ・ 大会当日はネクタイ、スーツ着用が望ましい。腕時計を持参すること。
- ・ 会場への移動は公共交通機関を利用すること。
- ・ 都合により担当者が変わる場合は、事前に会場係担当者まで連絡すること。
- ・ 昼食は弁当を用意します。

### 緊急連絡先：

大会本部 TEL：022-217-7126

### 業務内容：

(1) 会場設営・準備に関する業務内容

#### 1月29日(日)(19:00~21:00)

- 1) 顔合わせ(出欠確認)
- 2) 作業内容の説明と分担決定
- 3) 各会場の確認
- 4) 講演会会場キットの配布・内容確認
- 5) 立看板設置

1月30日(月)(9:00~12:00)、1月31日(火)(8:30~9:00)、2月1日(水)(8:30~9:00)



- 1) 出欠確認
- 2) 直前ガイダンス、講演会場キットの内容再確認
- 3) 各会場での設営作業
  - ・ スクリーンの位置確認
  - ・ PC プロジェクタの動作確認（操作法の確認）
  - ・ マイク機器の動作確認
  - ・ 照明スイッチの位置・動作確認、プロジェクタ投影時の会場の明るさ決定
  - ・ 机、椅子等のセッティング状況確認、各会場の席数を調整（椅子を増やす）
  - ・ 各会場の入口に会場名を貼紙にて表示、各会場の座長席を貼紙にて表示（1月30日に行う）
  - ・ 不明な箇所や故障を発見したら、会場係担当者あるいは大会本部に至急連絡すること。

## (2) 講演会会場の進行系の作業内容

### 作業1：各セッション開始前の準備作業

- ・ 講演者に対し、会場のパソコンに予めパワーポイントファイルを入れてもらうようアナウンスする。
- ・ 開始 10 分前までに座長席横に着席し、座長を確認しておく。
- ・ 自分が進行係であることを座長に伝え、必要に応じて打ち合わせを行っておくこと。
- ・ 優秀論文発表賞のエントリー件数を伝える。
- ・ 特別講演・懇親会・展示会に関する案内を座長に渡し、アナウンスを依頼する。
- ・ 講演者の PC プロジェクタ試写の手伝い。
- ・ もし、座長がセッション開始 5 分前になっても現れないときは本部に連絡すること。

### 作業2：講演会の進行作業

- ・ PC プロジェクタ接続の手伝い
- ・ ベル操作 一般講演 15 分：一鈴（10 分経過時）、二鈴（12 分経過時）、三鈴（15 分経過時）  
招待講演 30 分：一鈴（20 分経過時）、二鈴（25 分経過時）、三鈴（30 分経過時）
- ・ 照明操作 講演中は照明（の一部）OFF、質疑応答中は照明 ON

(必要に応じて適宜照明をつけるようにする)

- ・ 参加者数のカウント：計数結果を講演進行状況報告書に記入する（最大と最小人数と認められたときに適宜行う）。
- ・ 論文発表賞のエントリーがある場合、座長交代時に採点表を受け取る。

作業3：午前のセッション終了後のお昼休み時間の作業

- ・ 会場に忘れ物があれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 会場にゴミがあれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 大会本部に戻り、講演進行状況報告書（午前の前後半分）を提出する。
- ・ 大会本部にて連絡事項の確認をする。
- ・ 昼食休憩（大会本部にて）（12:50 までには担当会場に戻る）

作業4：午後のセッション終了後の片付け作業

- ・ PC プロジェクタ、マイク、ノートパソコンの電源を切る。
- ・ 机、椅子等、会場を整理する。
- ・ 会場に忘れ物があれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 会場にゴミがあれば、大会本部へ持ち帰る。
- ・ 大会本部に戻り、講演進行状況報告書（午後の前後半分）を提出する。
- ・ 大会本部にて連絡事項の確認をする。

1月30日（月）（会場によっては午後の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。）

午後前半      午後後半      片付け

作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業4

1月31日（火）（会場によっては午前の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。）

午前前半      午前後半      お昼休み      午後前半      片付け

作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業3ー作業1ー作業2ー作業4

2月1日（水）（会場によっては午後の前後半で分かれていないセッションもあるため、プログラム表で必ず確認のこと。）

午前前半      午前後半      お昼休み      午後前半      午後後半      片付け

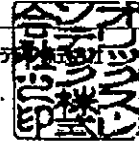
作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業3ー作業1ー作業2ー作業1ー作業2ー作業4

# レンタル料見積書

〒 980-0845  
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉  
519-1399  
理化学研究所



オリックスレンタル



南出 様

TEL 022-228-2162  
FAX 022-228-2050

2011年 11月 29日  
見積書№: 111129193-01

レンタル開始予定日 2012年 01月 30日

仙台市青葉区花京院1-1-20  
花京院スクエア 18階  
仙台支店  
担当 廣田繁菜  
TEL 022-224-3516 FAX 022-268-6569

受渡場所 貴社  
荷造運賃 貴社御負担  
支払方法 30日後 30日後 お振込  
見積有効期限 2011年 12月 29日



合計金額		¥131,880 (税込)		レンタル期間			05日
項目	レンタル物件名および明細	数量	基準レンタル料	割引率	月額レンタル料	一ヶ月未満	
1	VE680AV-BBINW (IP) 4520S/GT (XP/7D) (29742000)	8	92,800	65.0		32,400	
2	4520SのACC (HP) NB-ACCKIT (98927300)	1	700	65.0		200	
3	OFFICE STANDARD (マイソフト) SPLA/OFFICE-STD (10) (98874500)	8	30,400			30,400	
	** 月額レンタル料計 **					63,000	
	** レンタル料 合計 **				63,000		
項目	その他明細	数量	単価		金額		
4	ノートPC ノート02 (99990200)	8	2,000		16,000		
5	SPLA/マイソフト SPLA/マイソフト (99257700)	8	3,800		30,400		
	運送料				16,200		
	** その他計 **				62,600		
	以下余白						
	小計(レンタル料合計+その他)				125,600		
	消費税				6,280		
	合計				131,880		

備考: (註) ご発注時には再度在庫の有無をお問い合わせ下さい。  
現時点では在庫の確保はしておりません。ノートPCはご利用時期に在庫のある  
同等品にて改めてご紹介させていただきます。プロジェクトは不足時新規購入しての  
ご用意となります。

スペックは別紙参照

## レンタル料見積書 (別紙)

2011年 11月 29日  
見積書No: 111129193-01

項目	型番コード	メーカー型番 スペック	資産名称
1	29742000	4520S/CT(XP/7D)	VE680AV-BBHW(HP)
		メーカー : HP 筐体 : A4ノート OS : WinXP(7th'アップグレード'ナヒ'ス版) プロセッサ : Core i5-480M クロック : 2.66 GHz 2次 キャッシュ : 3.072 MB 実装 メモリ : 4.096 GB 最大 メモリ : 8.192 GB ポート : 2(1) HDD容量 : 250 GB HDD種別 : Serial ATAII / 7,200rpm FDD : なし 光学ドライブ : DVD-RW-マルチドライブ 速度 : 他記憶装置 : Y-RAM : 768 MB フラッシュメモリー : インテル HDフラッシュ(CPU内蔵 /MAX1759MBの VRAMは メモリと共有) 画面種類 : TFTカラー液晶 HD 画面サイズ : 15.6 インチ 画面解像度 : 1366× 768(1677万色) 拡張スロット 1: ExpressCardスロット (ExpressCard /34対応) × 1 拡張スロット 2: 拡張スロット 3: イーサネット : 10/100/1000BASE-T(GigabitEthernet) FAXモデム : USB : 2.0× 4(内 1ポートは eSATAと共用) IEEE1394 : その他 I/F : Atheros 9285G 802.11b/g/n 1x1 WiFi Adaptor サウンド : Intel High Definition Audio準拠 オプション1 : USB光学式 スキャナ付 (Microsoft製) オプション2 : オプション3 : バッテリー種類 : 6セル リチウムイオン OS Ver : WinXP Pro SP3 筐体情報 : 372× 250× 27.7-39mm, 駆動時間 :約 5.0h 重量 : 2.4 Kg	
3	98874500	SPLA/OFFICE-STD(10)	OFFICE STANDARD(マイクロソフト)
		レンタル料金は暦月単位で発生します。月を跨ぐ場合は2ヶ月分のご請求です。 メディアは付属しておりません。MS OFFICEのレンタル終了後の販売は出来ませんので、レンタル終了時お買上げのPCを一旦引取、ソフトを削除するか、代替品を納品させていただきます。	

見積番号 DM-110818-1  
発行日 2011年8月18日

## 御見積書

国立大学法人東北大学 御中

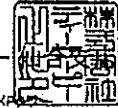
会 合 名 : レーザー学会 第32回年次大会

開 催 日 : 2012年1月30日(月)

見積金額: ¥558,400 (税込)

見積期日: —

ご予約は本予約となっております

〒980-0013  
宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3  
ソララガーデン・オフィス3階  
株式会社 ティーケーピー  
TEL:022-217-7126 FAX:022-721-3136  
本社:東京都中央区日本橋茅場町3-7-3 TKP

## 【会議室】

会場所在地 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3 ソララガーデン・オフィス2・3・4階

項目	内容	単価(時間)	時間	日数	
1	会議室室料 ホール2A(3321F)	¥8,550 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥59,850
2	会議室室料 ホール7B(4103F)	¥9,500 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥66,500
3	会議室室料 ホール2A(4145F)	¥10,500 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥73,500
4	会議室室料 カンファレンスルーム3A(7991F)	¥6,150 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥43,050
5	会議室室料 カンファレンスルーム3B(3332F)	¥7,900 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥55,300
6	会議室室料 ミーティングルーム3A(7992F)	¥1,800 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥12,600
7	会議室室料 ミーティングルーム3B(7997F)	¥2,450 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥17,150
8	会議室室料 ホール4A(4103F)	¥9,500 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥66,500
9	会議室室料 ホール2B(4545F)	¥10,500 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥73,500
10	会議室室料 カンファレンスルーム4A(3015F)	¥6,150 50%割引	7 11:00~18:00	1 2012/1/30	¥43,050
11	会議室室料 カンファレンスルーム4B(3432F)	¥7,900 50%割引	6 12:00~18:00	1 2012/1/30	¥47,400
① 会議室代 合計					¥558,400 (税込)

## 【オプション/備品】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
② オプション代/備品代 合計					¥0 (税込)

## 【ケータリング】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
③ ケータリング代 合計					¥0 (税込)

①+②+③

総合計

¥558,400  
(税込)

## ●特記事項

ご検討宜しく御願致します。

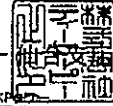
見積番号 DM-110010-2  
発行日 2011年8月18日

御見積書

国立大学法人東北大学 御中

会合名: レーザー学会 第32回年次大会  
開催日: 2012年1月31日(火)  
見積金額: ¥623,500 (税込)  
見積期日: ---

〒980-0013  
宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3  
ソララガーデン・オフィス3階  
株式会社 ティーケーピー  
TEL:022-217-7126 FAX:022-721-3136  
本社:東京都中央区日本橋茅場町3-7-3 TKP



ご予約は本予約となっております

【会議室】

項目	内容	単価(1時間)	時間	日数	
1	会議室室料 ホール2A(2421席) 50%割引	¥8,550	8	1	¥68,400
2	会議室室料 ホール2B(4403席) 50%割引	¥9,500	8	1	¥76,000
3	会議室室料 ホール2A(4443席) 50%割引	¥10,500	8	1	¥84,000
4	会議室室料 カンファレンスルーム1A(1911席) 50%割引	¥6,150	8	1	¥49,200
5	会議室室料 カンファレンスルーム1B(2531席) 50%割引	¥7,900	8	1	¥63,200
6	会議室室料 ミーティングルーム3A(672席) 50%割引	¥1,800	8	1	¥14,400
7	会議室室料 ミーティングルーム3B(379席) 50%割引	¥2,450	8	1	¥19,600
8	会議室室料 ホール4A(4103席) 50%割引	¥9,500	8	1	¥76,000
9	会議室室料 ホール4B(4443席) 50%割引	¥10,500	8	1	¥84,000
10	会議室室料 カンファレンスルーム1A(1911席) 50%割引	¥6,150	8	1	¥49,200
11	会議室室料 カンファレンスルーム1B(2531席) 50%割引	¥7,900	5	1	¥39,500
① 会議室代 合計					¥623,500 (税込)

【オプション/備品】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
② オプション代/備品代 合計					¥0 (税込)

【ケータリング】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
③ ケータリング代 合計					¥0 (税込)

①+②+③

総合計

¥623,500 (税込)

●特記事項

ご検討宜しく御願い致します。

見積番号 DM-110818-3  
発行日 2011年8月18日

## 御見積書

国立大学法人東北大学 御中

会合名: レーザー学会 第32回年次大会

開催日: 2012年2月1日(水)

見積金額: ¥623,500 (税込)

見積期日: ---

ご予約は本予約となっております

〒980-0013  
宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3  
ソララガーデン・オフィス3階  
株式会社 ティーケーピー  
TEL:022-217-7126 FAX:022-721-3138  
本社:東京都中央区日本橋茅場町3-7-3 TKP

担当者



## 【会議室】

会場所在地 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3 ソララガーデン・オフィス2・3・4階

項目	内容	単価(ノ時間)	時間	日数	
1	会議室室料 ホール2A(3821F)	¥8,550 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥68,400
2	会議室室料 ホール2B(4401F)	¥9,500 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥76,000
3	会議室室料 ホール2A(4845F)	¥10,500 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥84,000
4	会議室室料 カンファレンスルーム2A2(81F)	¥6,150 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥49,200
5	会議室室料 カンファレンスルーム2B(332F)	¥7,900 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥63,200
6	会議室室料 ミーティングルーム2A(370F)	¥1,800 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥14,400
7	会議室室料 ミーティングルーム2B(370F)	¥2,450 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥19,600
8	会議室室料 ホール4A(4301F)	¥9,500 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥76,000
9	会議室室料 ホール4B(4945F)	¥10,500 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥84,000
10	会議室室料 カンファレンスルーム4A(2015F)	¥6,150 50%割引	8 9:00~17:00	1 2012/1/31	¥49,200
11	会議室室料 カンファレンスルーム4B(3481F)	¥7,900 50%割引	5 17:00~17:00	1 2012/1/31	¥39,500
① 会議室代 合計					¥623,500 (税込)

## 【オプション/備品】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
② オプション代/備品代 合計					¥0 (税込)

## 【ケータリング】

項目	内容	単価	数量	日数	
1					
③ ケータリング代 合計					¥0 (税込)

①+②+③

総合計

¥623,500  
(税込)

## ●特記事項

ご検討宜しく御願い致します。

## 2.5 懇親会係

松浦 祐司 (主査)

### A) 会場・日時

一般講演会場である TKP カンファレンスセンターは最大の会議室でもスクール形式で 120 名ほどの収容であり、公開特別講演および懇親会の会場としては手狭であった。そこで徒歩で移動可能な近隣の大型の会議場として「パレスへいあん」を選定した。なお選定の際には低料金の公共のホール設備を優先したがどこも先約が取られていた。

公開特別講演会と同会場で実施したことにより、懇親会は講演会終了後の 18 時からの開催とした。なお会場の 2/3 を講演会場とし、残る 1/3 のスペースであらかじめ懇親会の準備を行い、講演会終了後に参加者にはロビーで 30 分ほど待機していただきその間に懇親会場のセッティングを行った。

### B) 会計

参加費は例年通り 5,000 円とし、学生は 1,000 円とした。予算では懇親会費支出 100 万円に対して参加費収入は 45 万円と懇親会単独では 55 万円ほどの赤字を見込んでいたが、これ以上の参加費の値上げは参加者数の減少にもつながる恐れがあり、難しいと思われる。経費の内訳は次の通りである。

会場費		73,500 円
料理	6,825 × 90 名 =	614,250 円
フリードリンク	1,817 × 138 名 =	250,746 円
レーザーポインター借用		2,100 円
サービス料		94,059 円
	合計	1,034,655 円
その他		
ささかまぼこ		18,900 円
酒 (持込)		50,000 円

(これらは雑費として会計処理)

### C) 料理等

懇親会のメニュー選定にあたっては地方開催の特色が活かせるように東北の特産物が主体となるように会場側に交渉した。また、アトラクションを特に設けない代わりに屋台コーナーなどを設定し好評であったが、予想より多くの参加者があったため、料理は 1 時間ほどでほとんどが消費されてしまった。なお本大会の懇親会参加者の傾向として、通常の懇親会より料理が比較的早期に消費されるようであり、次年度以降は量的な考慮が必要と思われる。また、今回は特別企画として「東北の銘酒呑み比べコーナー」を持ち込みで設



置し、地元の酒店の協力で集めた地酒 12 本を笹かまぼことともに提供したところ好評であった。

#### D) 進行

次の式次第に従って進行した。

日時 1/31 (火) 18:00-20:00

場所 パレスへいあん 3F グレース

1. 開会挨拶 東北大学 松浦 祐司 実行委員長
2. 挨拶 大阪大学 中井 貞雄 (なかいさだお) レーザー学会会長
3. 来賓紹介  
名誉会員 霜田 光一 先生  
岡 久雄 先生  
特別講演講師 名古屋大学 佐宗章弘 (さそうあきひろ) 先生  
東北大学 横山弘之 (よこやまひろゆき) 先生
4. 乾杯挨拶 東北学院大学 星宮 務 (ほしみやつとむ) 実行副委員長  
歓談
5. 挨拶 兵庫県立大学 藤原 関男 (ふじわらえつお) 評議委員  
(次回年次大会実行委員長未定のため)
6. 中締め挨拶 東北工業大学 上杉 直 (うえすぎなおし) プログラム委員長  
歓談  
流れ解散

#### E) その他

講演受付の際に資料 1 のような懇親会案内を配布して参加の呼びかけを行うとともに、展示会参加企業にも積極的に参加勧誘を行った結果、多くの参加者を得ることができた。また、公開講演会と同会場としたことも参加者増に貢献していると思われる。

レーザー学会第32回年次大会

# 懇親会のご案内

1月31日(火) 18:00 ~ 20:00

パレスへいあん 3F グレース  
(地図は裏面にあります)

会費:一般 5,000円/学生 1,000円  
(当日、会場でのお申し込みも可能です)

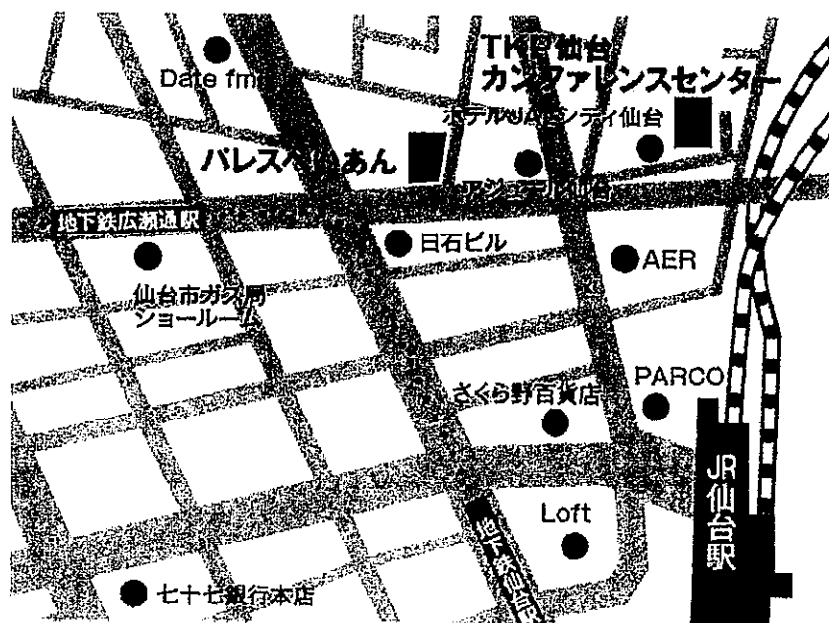
## メニュー

屋台牛タン焼  
御造り盛り合わせ  
カービングローストビーフ  
白石高原豚の野菜炒め  
桶寿司  
山菜そば  
ずんだ餅  
ほか

特設 東北の銘酒呑み比べコーナー  
田酒 純米大吟醸 四割五分(青森)  
十四代 角新大吟醸 本生(山形)  
日高見 吟醸うすにごり 生原酒(宮城)  
ほか多数  
松澤蒲鉾ご提供 “ささタン”をおつまみに

懇親会会場

パレスへいあん 3F グレース  
仙台市青葉区本町1丁目2-2 022-265-5111



## 2.6 アルバイト係

岩井 克全（主査）

アルバイト係の担当事項としては下記の2項目が割り当てられている。

- (1) 必要アルバイト人数の集計、確保
- (2) アルバイトの出勤管理、報告書作成

以下、準備期間中と会議期間中における活動報告をまとめる。

### 1. 準備経緯

- 1) 大会3ヶ月前  
実行委員会において、総務係、会場係、受付係が必要とするアルバイト人数の計画/集計を依頼
- 2) 大会3週間前  
上記結果を基に、「アルバイト募集要項」を作成し、各係担当の先生方の研究室、学生・院生へ通知を依頼知らせて貰った。
- 3) 大会2週間前
  - a) 応募者名を入れた「アルバイト配置案」を作成後、各係の先生方へ送付して確認を依頼
  - b) 大会前日の説明会に向け、各係の先生方へ下記内容の依頼メールを送付
    - ・ アルバイトへの説明用マニュアル作成
    - ・ 大会前日の説明会でマニュアルを使った作業詳細の説明
- 4) 大会前日  
説明会を開き、各係の作業説明と設営を行った

### 2. 大会期間中

- 1) 本部内に出勤簿を掲示し、期間中に出勤簿取り扱いについて説明を行った
- 2) その後は、各係に展開して担当の先生方の指示系統に入り、配置完了

### 3. 反省点・申し送り事項

過去の大会運営指針に則って行ったので、大きなトラブルはなく無事に遂行できた

### 4. 添付資料

- 1) アルバイト募集のお知らせ
- 2) 出勤簿

アルバイト係  
2012年1月11日

### レーザー学会年次大会アルバイト募集のお知らせ

日程：2012年1月29日（日）～2月1日（水）

場所：TKP仙台カンファレンスセンター

（〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院1丁目2-3

ソララガーデン・オフィス2階・3階・4階）

日給：1,000円/時間（上限9,000円/日）

内容：会場係—会場設営・撤去、講演会場ベル・照明・機材確認等

受付係—受付デスク設置・撤去、参加者受付、予稿集販売、懇親会受付等

本部係—本部業務の補助


日程：1月29日 19:00 センターロビーに集合、説明会と各係の設営


1月30日 9:00 センターロビーに集合、説明会と各係の設営

1月31日～2月1日 8:30 集合

募集人数：

	人数	1月29日	1月30日		1月31日				2月1日				
		午後	午前	午後		午前		午後		午前		午後	
				前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半		
会場係(1)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(2)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(3)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(4)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(5)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(6)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(7)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(8)	1名	説明&設営	説明&設営										
会場係(6,7)	1名	説明&設営	説明&設営										
受付係(1)	3名	説明&設営	説明&設営										
受付係(2)	2名	説明&設営	説明&設営										
受付係(3)	1名	説明&設営	説明&設営										
受付係(4)	1名	説明&設営	説明&設営										
会計係	1名	説明&設営	説明&設営										
本部係	2名	説明&設営	説明&設営										
事務局受付	1名	説明&設営	説明&設営										

 on duty

 off duty

その他条件： 昼食支給、交通費支給は無し

事務局受付1名分費用は本部負担

レーザ一学会第32回年次大会アルバイト出勤簿  
 アルバイト係 iwai@sendai-nct.ac.jp (TEL:022-391-5619) 岩井克全

担当名	1月29日 集合19:00				1月30日 集合9:00				1月31日 集合8:30				2月1日 集合8:30							
	入室時間	午前		午後		入室時間	午前		午後		入室時間	午前		午後		入室時間	午前		午後	
		入室時間	後半	後半	入室時間		後半	後半	入室時間	後半		後半	入室時間	後半	後半		入室時間	後半	後半	
I会場係(1)	印				印					印					印					印
II会場係(2)	印				印					印					印					印
III会場係(3)	印				印					印					印					印
IV会場係(4)	印				印					印					印					印
V会場係(5)	印				印					印					印					印
VI会場係(6)	印				印					印					印					印
VII会場係(7)	印				印					印					印					印
VIII会場係(8)	印				印					印					印					印
VIIII会場係	印				印					印					印					印

担当名	1月29日		1月30日		1月31日		2月1日	
	入室時間	入室時間	入室時間	入室時間	入室時間	入室時間	入室時間	入室時間
受付係(1)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(1)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(1)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(2)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(2)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(3)	印	印	印	印	印	印	印	印
受付係(クローク)	印	印	印	印	印	印	印	印
会計係	印	印	印	印	印	印	印	印
本部係	印	印	印	印	印	印	印	印
本部係	印	印	印	印	印	印	印	印
事務局受付	印	印	印	印	印	印	印	印

注1 特別会場係を業務、注2 懇親会受付を業務

on duty  off duty

## 2.7 広報係

三浦 賀一（主査）

（内容）

### 1 ポスター作成課程

#### 2 広報活動

- 2-1 32 回年次大会の PR
- 2-2 予稿集 広告案内
- 2-3 展示会出展の案内
- 2-4 懇親会参加案内

### 1 ポスター製作過程について

- 5 月 30 日 実行委員会会議にて役割分担の確認
- 6 月下旬 ポスターデザイン、掲載事項の素案作成
- 7 月下旬 デザイン、版下製作依頼（外部）
- 8 月中旬 サイズ、文書、記載項目の確認
- 9 月上旬 サイズ A1 版で制作完了
- 10 月 31 日 実行委員会会議にて作成報告

### 2 広報活動について

広報活動はポスターが制作された 9 月から開始し 10 月末ポスター持参で後援事務局並びに展示会参加企業に配布すると共に懇親会参加を依頼した。

10 月 31 日行われた実行委員会会議で予稿集広告や展示会出展企業数が予定に満たないためオプトロニクス社、レーザー学会事務局と連携をとりながら特に地元企業への参加を促す活動を行った。又今回の後援団体、みやぎ工業会川田会長はじめ菅野専務理事へはレーザー学会年次大会の趣旨を述べると共に会員企業への広報をお願いした。

広報活動に当たった主な団体

社団法人 みやぎ工業会事務局（会員数 380 社）

フロネシス 21 事務局（関連企業 20 社）

宮城県異業種交流グループ ソート'86（参加企業 16 社）

21 世紀プラザ研究センター（入居企業約 40 社）

東北経済産業局 産業技術課

宮城県産業技術総合センター

財団法人 仙台市産業振興事業団

JAXA 角田研究センター

財団法人 航空宇宙技術振興財団

### 3 展示会 (Laser Solution 2012) 実行委員会

Laser Solution 事務局  
オプトロニクス社

#### 実施概要

■ 併設展示会「Laser Solution2012」は1月30日～2月1日の3日間、TKP 仙台カンファレンスセンター ホール 3A にて開催し、以下の18社(団体)16小間の出展があった。

(株) アートレイ	(株) インデコ
(株) オフィールジャパン	(株) エイチアールディー
(株) オプトサイエンス	(株) オプトロニクス社
クロスライトソフトウェア日本支社	コヒレント・ジャパン (株)
(株) ジー・イー・エス	(株) 島津製作所
セブンシックス (株)	(株) ティー・イー・エム
(株) トリマティス	日本アールソフトデザイングループ
(株) 日本デバイス (株)	浜松ホトニクス (株)
(株) VIC インターナショナル	(社) みやぎ工業会

- ・ 例年どおりコーヒー無料サービスを実施し、実行委員の先生方をはじめ年次大会参加者が多数、出展社ブースに足を向けて頂き出展社から好評を得ることができた。

#### ■ 次年度申し送り事項

- ・ 次年度の開催も展示会場は学会本部 or 学会総合受付と隣接し、休憩コーナーが取れる場所が望ましい。
- ・ 休憩時間にはなるべく展示会に足を運んでいただくように、年次大会参加者へは案内していただきたい。
- ・ オプトロニクス社が配信する「光産業 e-mail ニュース」(読者数 約 10,000 人) を利用して論文募集、参加募集を積極的に働きかけていく。



#### 4 学会事務局

### 事務局 実施項目・計画 (第32回年次大会前日及び当日)

#### 1. 大会前日(1/29)作業項目

- (1) 次第書, 予稿集, 公開特別講演資料, 事務用品の搬入確認と点検  
中川印刷:16時~18時着(時間指定)
- (2) 事務局準備品の各係への配付
  - ・会場係:会場用品セット(ポインター, ストップウォッチ, ベル等), 会場用品等
  - ・受付係:次第書, 予稿集, 参加章, 予稿集用領収書, その他備品, 当日配布用座長・採点者資料(事務用品:事務局より 16時~18時着(時間指定))
- (3) 新規入会受付の設営

#### 2. 大会当日(1/30~2/1)作業項目

- (1) 参加章, 予稿集等の販売数と入金額との整合性チェック(受付係/会計係支援)  
入会希望者に対する入会手続事務(会費の徴収, 領収書発行, 入会申込葉書の回収など);
  - ・事務局受付設営
  - ・受付設営支援
  - ・会場設営支援
  - ・会計係作業支援・事務局受付設営
  - ・受付設営支援
  - ・会場設営支援
- (2) 会計係作業支援
- (3) 書籍等の予約販売
- (4) 年次大会受付係支援

#### 3. 作業(予定)と分担

日時	項目	担当
1月29日(日) 16:00~21:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着荷確認(16:00~18:00)</li> <li>・準備打合せ(18:00~19:00)</li> <li>・会場準備(19:00~21:00)</li> </ul>	森 森, 牧野 森, 牧野
1月30日(月) 9:00~18:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局受付設営</li> <li>・受付設営支援</li> <li>・会場設営支援</li> <li>・会計係作業支援</li> <li>・受付開始準備(12:30~)</li> </ul>	森, 牧野 牧野 森, 牧野 牧野 アルバイト
1月31日(火) 8:30~20:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場確認(8:30~9:00)</li> <li>・受付開始(8:30~)</li> <li>・30日31日の参加登録者数確認し 中井会長へ(12:00)</li> <li>・理事会(11:45~13:00)</li> <li>・公開特別講演会(15:00~17:00) 参加人数カウント</li> <li>・懇親会参加人数カウント</li> <li>・特別講演参加人数, 懇親会参加人数 を確認し松浦実行委員長へ(18:00)</li> <li>・懇親会(18:00~20:00)</li> </ul>	森 アルバイト 森 森, 牧野 森(講師対応) 森, 牧野 アルバイト 森(今回対応不要)
2月1日(水) 8:30~18:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会場確認(8:30~9:00)</li> <li>・受付開始(8:30~)</li> <li>・後片付け(講演終了時刻:17:00)</li> <li>・大会総括~終了後解散</li> </ul>	森 アルバイト 森, 牧野 森, 牧野, (実行委員)

## 事務局 特記事項 (第32回年次大会及び以降)

### 1. 依頼事項(大会期間中)

#### (1) 連絡体制

- ・緊急時(座長不明、遅れるなど・・・)のため、実行委員会、プログラム委員会の幹部連絡先を本部に設置。大会後に必ず破棄。
- ・事務局へは、080-4170-3620(携帯); 定時内は本部に設置, 時間外は「森」が携行。  
06-6878-3070(大阪事務局; 連携します)

#### (2) 特別講演、懇親会の参加者カウントのアルバイトさんへの依頼可否

- ・「可」の場合、指定時間内に「森」まで連絡のこと
  - ◆特別講演: 17時 →今回は森、牧野で対応
  - ◆懇親会: 17時50分 →アルバイト対応

### 2. 大会以降の依頼事項

#### (1) 大会速報の作成

- ・原稿締切: 2月20日, 学会誌「レーザー研究」4月号に掲載予定。
- ・作成者: 実行委員会, 原稿とりまとめ: 事務局
- ※サンプル(昨年度)用意

#### (2) 大会報告書の作成

- ・原稿締切: 3月E
- 原稿案について第3回実行委員会(3/M)で審議(メールにて実施)
- ・作成者: 実行委員会

※詳細は、第32回年次大会全体スケジュール(p. 4)を参照のこと。

以上

## 第32回年次大会 事務局が準備する物品リスト

	品名	内訳・備考	
総務関連	カメラ	デジカメ: 1台 (総務係:別途 1台(+下記付属品一式)を準備) 付属品一式(メモ리카ード, 等), 携帯電話1台(事務局)	
	各種名簿	役員, 名誉会員, 特別・シンポ・招待講演者, 座長, 実行・プログラム委員, 等々	
	名札ケース, リボン	実行委員:20枚(名札自体は総務係に準備頂く;黒紐), 事務局:2枚(黒紐), アルバイト:30枚(名札自体は総務係に準備頂く;赤紐)	
受付関連	資料 [前日AM, 会場納入]	年次大会講演予稿集:560部 年次大会次第書:800部 ※1/29, 16:00-18:00に搬入	
	資料	特別講演会講演予稿集:100部	
	参加章・領収書	参加章兼領収書:正・賛助会員:650枚, 学生:400枚, 非会員:300枚 懇親会参加章兼領収書:一般:150枚, 学生:100枚;受賞記念者6名は別途同封 講演予稿集領収書:500枚	
	受付用名簿	事務局受付対象者名簿(来賓, 賛助会員, 賛助会社)→受付係へ送付済(1/24)	
	参加登録受付用紙	700枚(サイズはA4の1/2)	
	備品	花リボン…赤大花(公開特別講演会講師):2個+予備1 白大花(会長, 実行委員長):2個+予備1 ナンバリング: 2台, 招待ゴム印:1個, お金ケース: 8個	
	座長・採点者用資料 …封筒に挿入	優秀論文発表採点用紙: 61部/126枚+予備10枚;平野氏(座長)分は受賞記念者宛てに同封. 講演者略歴表(特別:2件→松浦先生封筒, 受賞記念講演:6件→黒澤先生封筒) 座長名札:62枚(採点者は不要) 採点用回収チェックリスト:A3:1部/3枚(日毎), A4: 15部(日毎)	
	掲示・PR資料 …ホワイトボード・ 受付資料台展示	年次大会ポスター:5部, #422研究会:5部, OPIC:5部 セッション・座長表(ピンク):A3版:5部 会場平面図(ピンク):A3版:5部, A4版:5部 会誌見本:39.1~40.1号各1冊(含:購入申込書)…※「見本」シール貼り必要 「先端固体レーザー」(オーム社から直送), 入会案内冊子(170部), 入会案内ピラ	
	資料用封筒	A4版封筒:100部	
	受賞記念研究会報告 カウンター	6部(各登壇者宛て袋詰め);懇親会参加章同封, 平野氏は採点用紙同封 2個(特別講演会, 懇親会参加者計数用)	
	会場関連	会場用品セット	ポインタ(レーザー:緑 1本, 赤 8本+予備1本, 指示棒:2本) ストップウォッチ: 9個+予備1 ベル:9個+予備1 太マジックペン(黒, 赤): 9本+予備1 セロテープ: 9個+予備1
		予稿集用ラベル	会場備付用(座長用) 8枚(印刷業者から搬入)に貼る会場番号ラベル
会場係 アルバイト用資料		講演進行状況報告書: 61枚+予備 5枚	
会計関連	封筒 領収書	謝礼用封筒(旅費, 謝礼用):2部+予備1部(公開特別講演者用)→会計係に送付 長3封筒(アルバイト代用):100部+領収書→会計係に送付済	
事務局専用分	現金等	受付用つり銭	
	受付用品	受付テーブル表示, 文具, 領収書, 入金箱, 受入箱:3 個, 宅配便送状, ガムテープ 等, 入会受付セット(入会手順, 入会案内冊子 30 部, 入会申込書 30 部, 専門分野一 覧表, 年次大会入会者リスト(事務局控え), 領収書 1 冊, 会員番号 通知葉書(正学 各 20 枚), 自動引落申込書 30 部, 返信用封筒 20 枚, 手提げ金庫 1)	
	理事会関連	理事会配布資料:19部, 名札 弁当手配(→総務係に依頼)	
	その他会合	弁当手配(→総務係に依頼) ※東京支部委員会, 安全専門委員会, 編集委員会	

## 年次大会 各係準備事項(概要)

注)下記はあくまで目安であり、適宜見直して下さい。

事務局準備品以外で手配・作成が必要な物品類は、担当の各係にて準備をお願い致します。  
疑問点等ございましたら、弊事務局までご相談下さい。

係名		準備事項
総務係	事前作業	<input type="checkbox"/> 弁当配達手配:実行委員, アルバイト, 事務局, 他. また, 理事会等の別会合分も一括手配. <input type="checkbox"/> 本部室用飲物の手配 <input type="checkbox"/> 実行委員名札作成(名刺版)→ケースは事務局が用意 <input type="checkbox"/> 会場外大会案内立て看板(広報係と連携)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 本部室用品の搬入(パソコン, プリンタ, 飲物等) <input type="checkbox"/> 本部室設営:ロの字形式(約30名程度) <input type="checkbox"/> ランチマップ(受付用)
受付係	事前作業	<input type="checkbox"/> 受付配置案の作成 <input type="checkbox"/> 受付用器財の手配(テーブル, ホワイトボード, 椅子, 文房具等) <input type="checkbox"/> 受付用各種表示の作成(特別受付, 一般受付, 懇親会受付, 予稿集販売, 学会関係者等) <input type="checkbox"/> 受付アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 受付用名簿, 封筒用ラベル作成(データは事務局より支給) ・特別参加者名簿, ラベル(特別・シンポ・招待講演者, 座長, 実行・プログラム委員) ・公開特別講演参加者名簿, 一般参加者名簿, 懇親会参加者名簿(いずれも記名用紙)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 受付アルバイトへの作業内容説明 <input type="checkbox"/> 受付設営(特別, 一般, 懇親会, 予稿集販売, 学会関係者等) ・テーブル配置 ・受付用各種表示の掲示 ・予稿集, 次第書等資料の開封・配列 ・受付用品の配列(受付名簿, 特別参加者用封筒, 各種花リボン, 座長名札等) <input type="checkbox"/> つり銭用現金の確保 <input type="checkbox"/> 特別参加者用封筒詰(特別講演者, 座長・採点者用は事務局が準備) ・参加章兼領収書:正・賛助会員/学生/非会員の3種類 ・懇親会参加章兼領収書:一般/学生の2種類 ・講演予稿集領収書:1種類
会場係	事前作業	<input type="checkbox"/> 会場予約(見積書, 請求書入手) <input type="checkbox"/> 使用機器の手配・確保(含:プロジェクタ, PC, ケーブル→レンタル?) <input type="checkbox"/> 本部室用パソコン, プリンタ手配(含:プリント用紙) <input type="checkbox"/> 特別会場吊看板, 立て看板の制作・設置手配 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトマニュアルの作成 <input type="checkbox"/> 各種案内の作成(会場番号, 控え室, 休憩室, クローク, 締切, 案内矢印, 座長席表示, プロジェクター試写案内等)
	前日作業	<input type="checkbox"/> 会場用器財の搬入:プロジェクター他 <input type="checkbox"/> 会場アルバイトへの作業内容説明 ・資料:マニュアル, 講演使用機器一覧, 講演進行状況報告書, 案内用OHP <input type="checkbox"/> 講演会場設営 ・座長席設営(座長席表示, 会場用用品セット, 座長用予稿集) ・プロジェクター設置・試写, セレクター照明・マイクテスト等 ・吊看板, 立て看板の設置 ・式次第垂れ幕, 各種案内板の掲示
会計係	事前作業	<input type="checkbox"/> 会場予約金の支払
	前日作業	<input type="checkbox"/> 現金準備:旅費, 謝礼, アルバイト代(封筒詰, 宛名書き必要), つり銭用 <input type="checkbox"/> 旅費, 謝礼, アルバイト代の封筒詰, 宛名書き ・源泉徴収用領収書:特別・シンポ・招待・受賞記念講演者, アルバイト代(1日単位) <input type="checkbox"/> 受付係との連携確認 <input type="checkbox"/> 現金輸送ルートの確認

## IV. 次年度申し送り事項まとめ

### 1 プログラム委員会

#### (1) 日程：

今回、ほぼ同時期にレーザー関係の Advanced Solid-State Photonics、Photonics West 等の会議が開催されたため、参加、或いは、招待講演が出来ない等の事例が散見された。可能ならば、事前に同時期に開催される会議の情報があれば、混乱が避けられる可能性がある。また、この時期では止む負えないことではあるが、プログラム委員、招待講演依頼者の方で、大学の入試業務と重なり参加できなかった。座長、招待講演者等の確認を早めに行うことが必要かと思う。

#### (2) 締切日：

プログラム委員会で締切延長の可能性が質問された。昨年度も締切の延長は実施していないことを踏まえ今回も延長しないとの方針で対応した。次年度以降も、プログラム委員に締切延長はしないとの方針を周知することが必要かと考えている。

#### (3) 地方開催：

学会員が多くない地方で開催する場合、プログラム委員には、各種学会等で活躍している若手の先生方を積極的に選任することが重要である。今回も東北・北海道地区以外の多くの先生方にご活躍頂いた。

#### (4) 招待講演：

招待講演は、年次大会の核となる講演であり、講演者、講演題名の選定は一般講演投稿の促進に極めて重要である。レーザー技術が進展し、多くの分野で用いられている現状においてレーザー学会員以外で活発に研究を行っている方を招待するときに、参加費が免除できないか。勿論、第1回プログラム委員会で学会員でない場合、参加費は会員料金に減額されることは確認しているが、学会員でない方でレーザー技術を積極的に活用し優れた研究成果を挙げている方を今後とも招待する場合も増えてくることが予想される。招待講演者が結果的にレーザー学会員になることを期待して参加費の免除を期待したい。

### 2 現地実行委員会

#### 2.1 総務係

- (1) 会場が駅から徒歩3分の好立地であったため、宿泊案内、昼食案内、参加者への弁当の手配は一切行わなかったが、特に参加者から不満等は無かった模様。
- (2) 実行委員長判断で今回は保険の加入は行わなかったが、アルバイト学生が一名、通勤中に自転車で転倒して怪我をする事故が発生した。軽傷のため事なきを得たが、万が一ということもあるので今後は加入すべき。
- (3) 本部付けのアルバイト学生2名には、電話番、落し物の管理、お茶の手配などの本部関連業務以外にも懇親会の準備、看板の出し入れ、写真撮影などの雑務もお願いした。本部関連業務は少ないので、今後は雑務全般を担当するとして受付業務や会場業務なども積極的に担当するようにすべき。
- (4) 地方開催の場合、大会前2回の委員会開催、および大会後委員会の省略は適切。但しメール等による委員長、総務、事務局の密接な連絡が必要。

## 2.2 会計係

### (1) 銀行口座開設等について

- ・ 賛助金の入金のため前年の8月位までには口座開設すること。
- ・ 今回、会計主査は開催地在住ではないため、実行委員長に大会前の口座開設および入金確認について協力いただいた。
- ・ 口座名義は第32回レーザー学会年次大会実行委員長（最後に実行委員長名）とした。

### (2) 現金、通帳、印鑑、カードの管理について

- ・ 印鑑は実行委員長が管理し、それ以外を主査が管理した。
- ・ 通帳、現金、カードは小型金庫（主査保有）に入れて保管した。また、会場隣接のホテルを主査の宿泊先とし、移動中の事故がないよう注意を払った（前年度の申し送り事項を参考とした）。
- ・ 入出金は半日1回程度、大会会場より徒歩5分程度の支店（七十七銀行名掛丁支店）を利用した。なお、入出金までの移動は必ず2名で行った。
- ・ 口座は広告費等の入金が大会終了後となるため、すべての入金を確認した後、年度内の解約までの期間は管理が必要である。

### (3) 釣銭の準備

- ・ 釣銭用に多量の紙幣を用意する必要があるため、5千円札への両替は銀行自動両替機の手数料無料の限度まで行い、1千円札の両替はATMで1万円の引き出しを両替の形式で幾度も行った。
- ・ 当初5千円札は50枚準備したが、アルバイト代現金を含めると本大会では途中で不足が生じそうになったため、1回目の入金時に再度50枚両替して補充した（同銀行の別キャッシュカードがあれば）。

### (4) 受付係との現金授受、現金照合について

- ・ 会計係は受付係の背後に作業場所を設置した。
- ・ 金銭の授受については作成したチェックシートを利用し注意を払った。特に、参加者記載の申込用紙とチェックシート記載内容との照合および現金の照合については、受付係とのダブルチェックは入念に行った。このチェック手順については、受付係の協力による十分な事前準備により、当日は大きなトラブルがなく円滑に行うことができた。

### (5) アルバイト代、特別講演者謝礼・交通費支給について

- ・ アルバイト代の支給は支給人数が多いため、アルバイト係の協力も得た。
- ・ 特別講演者謝礼・交通費の支給は、特別講演者とのコンタクトは機会が少ないため、事務局および受付係と連携が重要である。また、今回は特別講演会場が大会会場と別会場であったため、本会場の受付に来られなかった講演者がいた。そのため、特別講演会場が異なる場合は注意が必要である。

## 2.3 受付係

(1) 賛助会員については、昨年と状況は同様であった。賛助会員企業に参加票が配布されていたため、受付を素通りすることで十分な集計ができない可能性がある。参加章引換券の配布に改めることで正しく受付の集計ができるようになると思われる。

(2) 昨年も提案されたが、ウェブサイトや学会誌等で、受付用紙のフォームをコピーできるようにし、事前に記入して持参できるようなシステムにすることで、会場当日での受付をよりスムーズにできると期待される。

## 2.4 会場係

(1) 特段大きな問題は発生しなかった、今回は、会議場をTKP 仙台カンファレンスセンターとしたため、運営会社により会場準備作業がなされスムーズな会議運営となった。実際に起きたトラブルとしては、マイクの故障があり、交換して対応した。

- (2) オリックスレンタックでノートパソコンを発注した場合、最小貸出日数5日となり、会議場での引き取りではなく、持ち帰ってからの引き取りとなる。
- (3) マイクロソフト Office の契約は、各月単位となり、今回の場合、会議を1月、2月とまたがっているため2ヶ月分の利用請求となる。

## 2.5 懇親会係

- (1) 予算では懇親会費支出100万円に対して参加費収入は45万円と懇親会単独では55万円ほどの赤字を見込んでいたが、これ以上の参加費の値上げは参加者数の減少にもつながる恐れがあり、難しいと思われる。
- (2) 本大会の懇親会参加者の傾向として、通常の懇親会より料理が比較的早期に消費されるようであり、次年度以降は量的な考慮が必要と思われる。
- (3) 講演受付の際に懇親会案内を配布して参加の呼びかけを行うとともに、展示会参加企業にも積極的に参加勧誘を行った結果、多くの参加者を得ることができた。また、公開講演会と同会場としたことも参加者増に貢献していると思われる。

## 2.6 アルバイト係

- (1) 過去の大会運営指針に則って行ったので、大きなトラブルはなく無事に遂行できた。

## 2.7 広報係

- (1) 広報活動はポスターが制作された9月から開始し10月末ポスター持参で後援事務局並びに展示会参加企業に配布すると共に懇親会参加を依頼した。
- (2) 10月31日に行われた実行委員会で予稿集広告や展示会出展企業数が予定に満たないためオプトロニクス社、レーザー学会事務局と連携をとりながら特に地元企業への参加を促す活動を行った。又今回の後援団体、みやぎ工業会川田会長はじめ菅野専務理事へはレーザー学会年次大会の趣旨を述べると共に会員企業への広報をお願いした。

## 3 展示会 (Laser Solution 2012) 実行委員会

- (1) 次年度の開催も展示会場は学会本部 or 学会総合受付と隣接し、休憩コーナーが取れる場所が望ましい。
- (2) 休憩時間にはなるべく展示会に足を運んでいただくように、年次大会参加者へは案内していただきたい。
- (3) オプトロニクス社が配信する「光産業 e-mail ニュース」(読者数 約 10,000 人)を利用して論文募集、参加募集を積極的に働きかけていく。

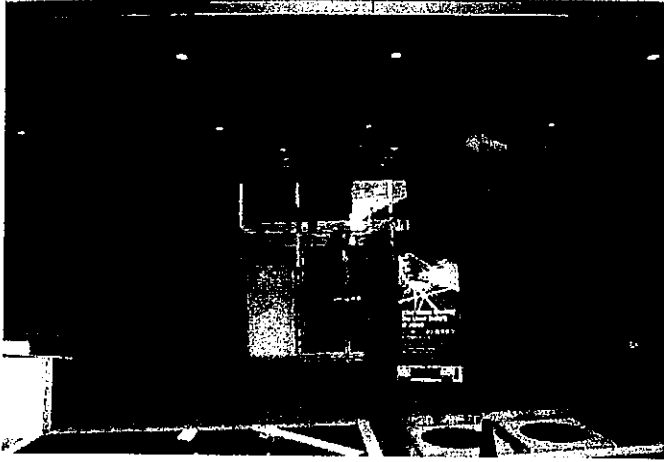
レーザー学会学会学術講演会第32回年次大会実行委員会

	氏名	所属	郵便番号	所属先住所	e-mail	電話番号	FAX
実行委員長	松浦祐司	東北大学大学院工学研究科	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05	yuji@ecei.tohoku.ac.jp	022-795-7108	022-795-7106
同副委員長	星宮務	東北学院大学工学部	985-8537	宮城県多賀城市中央1-13-1	tpth@tjcc.tohoku-gakuin.ac.jp	022-369-7453	022-368-7070
同顧問	植田憲一	電気通信大学 レーザ・斬新世代研究センター	182-8585	調布市調布ヶ丘1-5-1	ueda@ile.uec.ac.jp	0424-43-5700	0424-85-8960
プログラム委員長	上杉直	東北工業大学工学部	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町35-1	uesugi@tohotech.ac.jp	022-305-3441	022-305-3402
同副委員長	南出泰亜	理化学研究所	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉519-1399	minamide@riken.jp	022-228-2111	022-228-2122
展示会実行委員長	山本和久	大阪大学 光化学センター	565-0871	吹田市山田丘2-8テックノアライアンス棟A802	yamamoto-k@ppc.osaka-u.ac.jp	06-6879-8958	06-6879-8959
Laser Solution 2012事務局	上野直樹	オプトロニクス社	182-0814	東京都新宿区新小川町5-5サンケンビル	ueno@optronics.co.jp	03-3269-3550	03-3269-2551
Laser Solution 2012事務局	大沢哲夫	オプトロニクス社	182-0814	東京都新宿区新小川町5-5サンケンビル	ohsawa@optronics.co.jp	03-3269-3550	03-3269-2551
総務係 主査	片桐素史	東北大学大学院工学研究科	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05	katagiri@ecei.tohoku.ac.jp	022-795-7107	022-795-7106
会計係 主査	加藤祐次	北海道大学大学院情報科学研究科	060-0814	札幌市北区北14条西9	kato@bme.ist.hokudai.ac.jp	011-706-7229	011-706-7219
受付係 主査	佐藤学	山形大学大学院理工学研究科	982-8510	山形県米沢市城南4-3-16	msato@yz.yamagata-u.ac.jp	0238-26-3187	0238-26-3187
会場係 主査	南出泰亜	理化学研究所	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉519-1399	minamide@riken.jp	022-228-2111	022-228-2122
会場係 副査	吉田真人	東北大学電気通信研究所中沢研究室	980-8577	仙台市青葉区片平2-1-1	masato@tec.tohoku.ac	022-217-5525	022-217-5524
アルバイト係 主査	岩井克全	仙台高等専門学校情報通信工学科	989-3128	仙台市青葉区愛子中央4-16-1	iwai@sendaif-nct.ac.jp	022-391-5619	
懇親会係 主査	松浦祐司	東北大学大学院工学研究科	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-05	yuji@ecei.tohoku.ac.jp	022-795-7108	022-795-7106
広報係 主査	三浦賢一	ミウラセンサ一研究所	981-3203	仙台市泉区高森2-1-40	miura@miura-sensor.jp	022-374-3207	022-772-0640
学会事務局	森一夫	事務局 局長	565-0871	吹田市山田丘2-6	morit-k@ile.osaka-u.ac.jp	06-6878-3070	06-6878-3088
学会事務局	牧野理恵	事務局 主査	565-0871	吹田市山田丘2-6	rmakino@ile.osaka-u.ac.jp	06-6878-3070	06-6878-3088

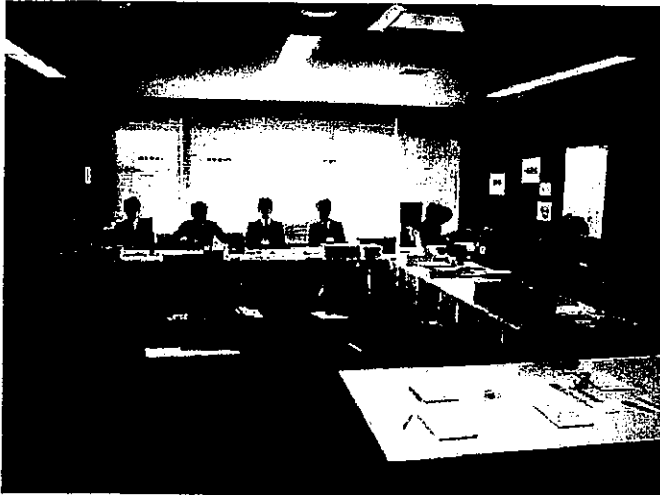




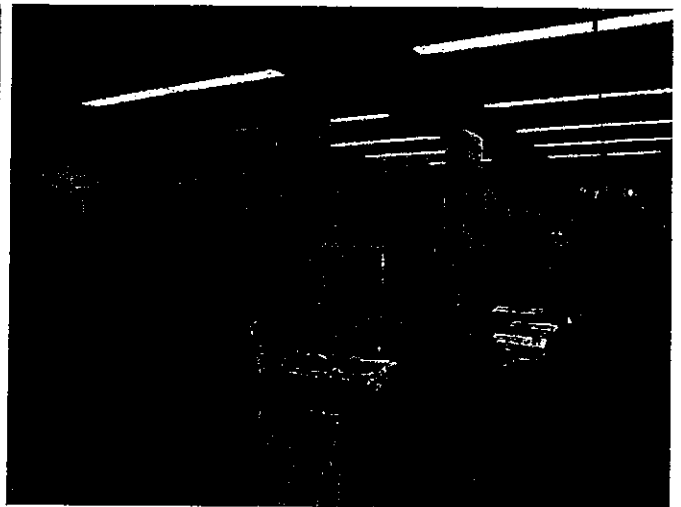
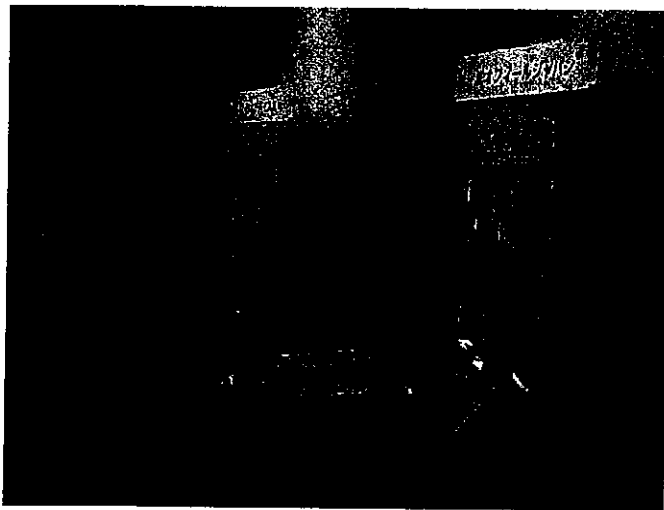
会場入口



受付



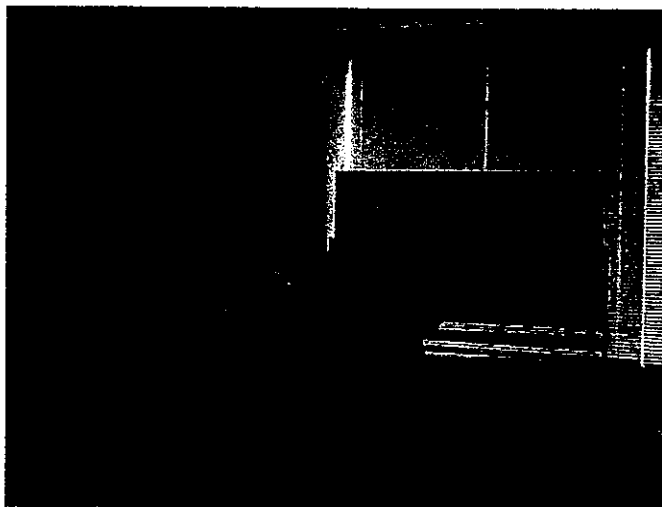
Laser Solution 2012



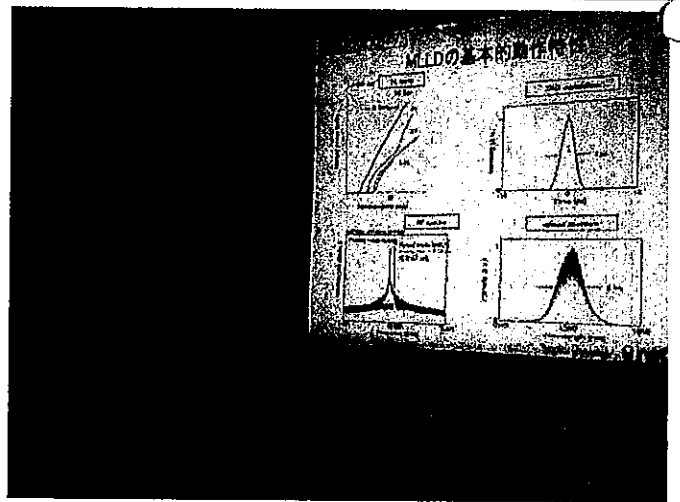
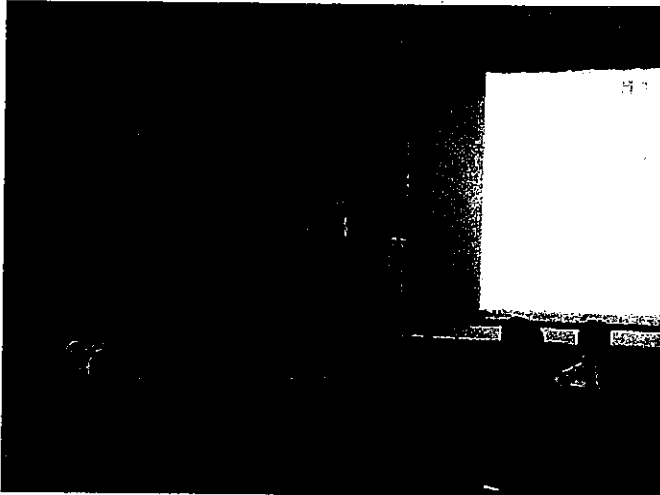
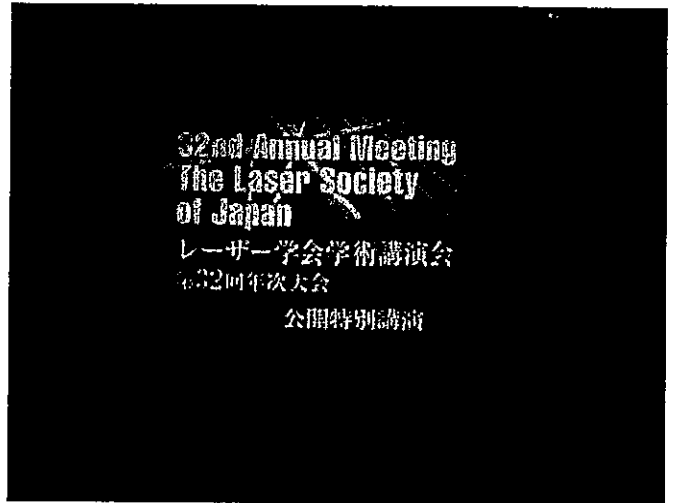
大会本部



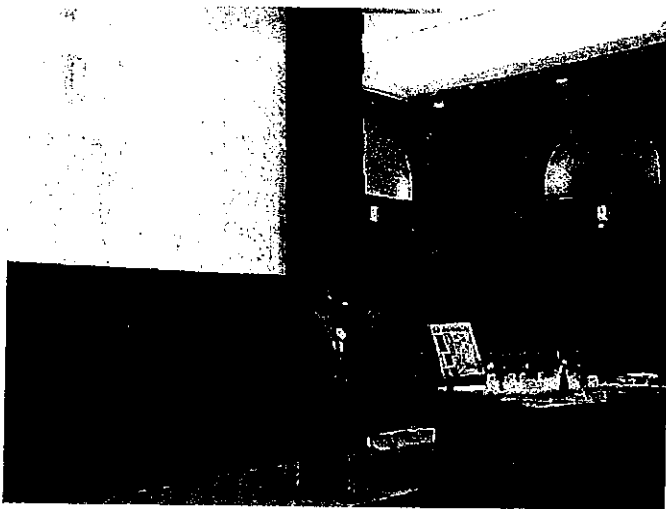
一般講演



公開特別講演会



懇親会



(

(

